Dell™ Inspiron™ 8600

オーナーズマニュアル

モデル PP02X

www.dell.com | support.dell.com

メモ、注意、警告

メモ : コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意 : ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告 : 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語について

略語の一覧表については、『はじめよう』ヘルプファイル（63 ページを参照）を参照してください。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合は、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

Model PP02X

2004 年 3 月　P/N G5134　Rev. A00

目次

6 家庭用および企業用ネットワークのセットアップ

7 問題の解決

情報の検索方法

何をお探しですか？	ここに記載されています
• チュートリアルおよびその他の情報にアクセスする方法 • 請求明細書を入手する方法 • 追加マニュアル、ツール、トラブルシューティング、オンラインサポートリソースへのリンク	**Dell Solution Center** Windows デスクトップ
• コンピュータの診断プログラム • コンピュータのドライバ • コンピュータのマニュアル • デバイスのマニュアル	**『Drivers and Utilities CD』（『ResourceCD』とも呼ばれます）** マニュアルおよびドライバは、本コンピュータにすでにインストールされています。この CD は、ドライバを再インストールしたり、Dell 診断プログラムを実行したり、マニュアルにアクセスするときに使用します。ドライバの再インストールと Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行の詳細については、72 ページを参照してください。 CD 内に Readme ファイルが含まれている場合があります。この Readme ファイルには、コンピュータの技術的変更に関する最新のアップデートや、技術者または専門知識をお持ちのユーザーを対象とした高度な技術資料を参照できます。
• プリンタのセットアップ方法 • コンピュータのセットアップに関する追加情報 • トラブルシューティングおよび問題解決の方法 • 部品の取り外しおよび取り付け方法 • 仕様 • デルへの問い合わせ方法	**Inspiron オーナーズマニュアル** **メモ：**このマニュアルは、PDF 形式のものをウェブサイト（**support.jp.dell.com**）で参照していただけます。

何をお探しですか？	ここに記載されています
• コンピュータのセットアップ方法	**セットアップ図**
• Microsoft® Windows® の使用に関するヒント • CD および DVD の使用方法 • スタンバイモードおよび休止状態モードの使用方法 • 画面解像度の変更方法 • コンピュータのクリーニング方法	**『はじめよう』ヘルプファイル** 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。 2 **ユーザーズガイドおよびシステムガイド** をクリックして、**ユーザーズガイド** をクリックします。 3『**はじめよう**』ヘルプファイルをクリックします。
• サービスタグとエクスプレスサービスコード • Microsoft Windows ライセンスラベル	**サービスタグおよび Microsoft Windows ライセンス** ラベルはお使いのコンピュータの底面に貼られています。 • サービスタグは、**support.jp.dell.com** を使用の際、またはテクニカルサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。 • エクスプレスサービスコードを利用すると、テクニカルサポートに直接電話で問い合わせることができます。エクスプレスサービスコードは、国によって利用できないことがあります。 • Microsoft Windows ライセンスラベルの数字は、オペレーティングシステムを再インストールする場合に使用します。

何をお探しですか？	ここに記載されています
• コンピュータ用のドライバ • テクニカルサービスおよびサポートに関する質問の回答 • コンピュータのマニュアル	**デルサポートサイト — support.jp.dell.com** **メモ：**適切なサポートサイトを表示するには、お住まいの地域を選択します。 デルサポートウェブサイトには、以下のツールを含むいくつかのオンラインツールがあります。 • ソリューション — トラブル解決ナビ、Q&A • カスタマーケア — 問い合わせ先、ご注文の状況、保証、および修理に関する情報 • ダウンロード — ドライバ、パッチ、およびソフトウェアのアップデート • 参考資料 — コンピュータのマニュアル、製品仕様、およびホワイトペーパー
• Windows XP の使い方 • コンピュータのマニュアル • デバイス（モデムなど）のマニュアル	**Windows ヘルプとサポートセンター** 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。 2 問題に関連する用語や文節をボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。 3 問題に関連するトピックをクリックします。 4 画面に表示される指示に従ってください。
• オペレーティングシステムの再インストール方法	**『オペレーティングシステム CD』** オペレーティングシステムは、本コンピュータにすでにインストールされています。オペレーティングシステムを再インストールする場合は、『オペレーティングシステム CD』を使用します。手順については、Inspiron『オーナーズマニュアル』を参照してください。 オペレーティングシステムを再インストールしたら、『Drivers and Utilities CD』を使って、コンピュータに付属するデバイス用のドライバを再インストールします。 オペレーティングシステムの Product Key（プロダクトキー）ラベルは、コンピュータに貼られています。 **メモ：**注文されたオペレーティングシステムによって、CD の色が違います。

1

コンピュータの各部

正面図

ディスプレイラッチ — ディスプレイを閉じておくために使用します。

ディスプレイ — ディスプレイの詳細に関しては、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、63 ページを参照してください。

電源ボタン — 電源ボタンを押すと、コンピュータの電源が入るか、または省電力モードに入ります。

注意 : データの損失を防ぐため、コンピュータの電源を切る際は、電源ボタンを押すのではなく、Microsoft® Windows® のシャットダウンを実行してください。

コンピュータが応答しなくなった場合は、コンピュータの電源が完全に切れるまで、電源ボタンを押し続けます（数秒かかることがあります）。

デバイスステータスライト

⏻	コンピュータに電源を入れると点灯し、コンピュータが省電力モードに入っている際は点滅します。
🛢	コンピュータがデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。 **注意 :** データの損失を防ぐため、🛢 のライトが点滅している間は、絶対にコンピュータの電源を切らないでください。
🔋	バッテリーが充電状態の場合、常時点灯、または点滅します。点灯しない場合は、コンピュータにバッテリーが入っていない可能性があります。
✱	Bluetooth™ ワイヤレステクノロジが有効になっている場合は、点灯します。 **メモ :** Bluetooth はオプション機能です。✱ ライトは、コンピュータに Bluetooth 機能が付いている場合にのみ点灯します。詳細に関しては、Bluetooth テクノロジ製品に付属しているマニュアルを参照してください。 Bluetooth 機能だけを無効にするには、システムトレイにある ✱ アイコンを右クリックし、**Bluetooth ラジオの無効化** を選択します。 すべてのワイヤレスデバイスを素早く有効または無効にするには、 Fn F2 を押します。

コンピュータがコンセントに接続されている場合は、 のライトは次のように動作します。

- 緑色の点灯 — バッテリーの充電中です。
- 緑色の点滅 — バッテリーの充電が完了しました。

コンピュータをバッテリーでお使いの場合は、 のライトは、次のように動作します。

- 消灯 — バッテリーが十分に充電されています（または、コンピュータの電源が切れています）。
- 橙色の点滅 — バッテリーの充電残量が低下しています。
- 橙色の点灯 — バッテリーの充電残量が非常に低下しています。

キーボード — キーボードにはテンキーパッドだけでなく、Microsoft® Windows® のロゴキー も含まれています。お使いのコンピュータがサポートするキーボードショートカットの機能については、42 ページを参照してください。

メディアコントロールボタン — CD および DVD の再生を制御します。

タッチパッド — タッチパッドおよびタッチパッドボタンは、マウスの機能と同じように使うことができます。詳細に関しては、44 ページを参照してください。

ディスプレイラッチボタン — このボタンを押してディスプレイラッチを取り外し、ディスプレイを開きます。

スピーカー — 内蔵スピーカーの音量を調整するには、ボリュームコントロールボタンを押すか、ボリュームコントロール用のキーボードショートカットを押してください。詳細に関しては、43 ページを参照してください。

タッチパッドボタン — タッチパッドボタンは、マウスの機能と同じように使うことができます。詳細に関しては、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、63 ページを参照してください。

ボリュームコントロールボタン — ボリュームを調整するには、これらのボタンを押します。

ミュートボタン — 音を消すには、このボタンを押します。

キーボードステータスライト

キーボードの上にある緑色のライトの示す意味は、以下のとおりです。

9	テンキーパッドが有効になると点灯します。
A	英字が常に大文字で入力される機能が有効になると点灯します。
↓	Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。

左側面図

IEEE 1394 コネクタ（4 ピン） — デジタルビデオカメラのような、IEEE 1394 高速転送率をサポートするデバイスを取り付けるのに使用します。

PC カードスロット — モデムまたはネットワークアダプタなどの PC カードを 1 枚サポートします。詳細に関しては、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、63 ページを参照してください。

オーディオコネクタ

🎧 のコネクタにはヘッドフォンまたはスピーカーを接続します。

🎤 のコネクタにはマイクを接続します。

ハードドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。

セキュリティケーブルスロット — このスロットを使って、市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます。詳細については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

注意：盗難防止用品を購入される前に、お使いのセキュリティケーブルスロットに対応しているか確認してください。

右側面図

セキュリティケーブルスロット — このスロットを使って、市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます。詳細については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

注意：盗難防止用品を購入される前に、お使いのセキュリティケーブルスロットに対応しているかどうかをを確認してください。

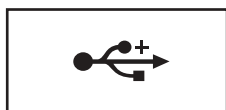
モジュールベイ — モジュールベイには、オプティカルドライブや Dell TravelLite™ モジュールなどのデバイスを取り付けることができます。詳細に関しては、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、63 ページを参照してください。

デバイスリリースラッチ — デバイスを取り外します。詳細に関しては、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルへのアクセスについては、63 ページを参照してください。

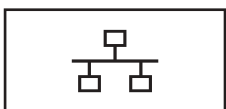
背面図

S ビデオ TV 出力コネクタ

	コンピュータを TV に接続します。詳細に関しては、49 ページを参照してください。

USB コネクタ（2）

	マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。また、下に示すように、オプションのフロッピードライブを、オプションのフロッピードライブケーブルを使用して、USB コネクタに直接接続することもできます。

ネットワークコネクタ（RJ-45）

注意 : ネットワークコネクタは、モデムコネクタよりも若干大きめです。コンピュータの損傷を防ぐため、電話回線をネットワークコネクタに接続しないでください。

	コンピュータをネットワークに接続します。コネクタの横にある緑および黄色のライトは、ワイヤ / ワイヤレスネットワーク通信の活動を示します。 ネットワークアダプタの使い方の詳細については、コンピュータに付属されているオンラインのネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。

モデムコネクタ（RJ-11）

	内蔵モデムを使用するには、電話線をモデムコネクタに接続します。 モデムの使い方の詳細については、コンピュータに付属のオンラインモデムのマニュアルを参照してください。

ビデオコネクタ

	外付けモニターを接続します。詳細に関しては、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、63 ページを参照してください。

AC アダプタコネクタ — AC アダプタをコンピュータに接続します。

AC アダプタは AC 電力をコンピュータに必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、コンピュータの電源がオンでもオフでも接続できます。

 警告 : AC アダプタは世界各国のコンセントに適合しています。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

注意 : ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタケーブルをコンピュータから外す場合は、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。

通気孔 — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防ぎます。

 メモ : コンピュータは熱を持った場合にのみファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

 警告 : 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

底面図

バッテリーベイリリースラッチ — バッテリーを取り外すのに使用します。32 ページを参照してください。

バッテリー — バッテリーを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続しなくてもコンピュータを使うことができます。32 ページを参照してください。

バッテリー充電ゲージ — バッテリー充電の情報を提供します。31 ページを参照してください。

ドッキングデバイススロット — お使いのコンピュータにドッキングデバイスを取り付けます。詳細については、ドッキングデバイスに付属のマニュアルを参照してください。

メモリモジュールカバー — メモリモジュールが含まれる実装部のカバーです。79 ページを参照してください。

ファン — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防ぎます。

 メモ：コンピュータは熱を持った場合にのみファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

 警告：通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

ミニ PCI カードおよびモデム — オプションのモデムおよびオプションのミニ PCI カードの実装部のカバーです。83 ページを参照してください。

ハードドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。

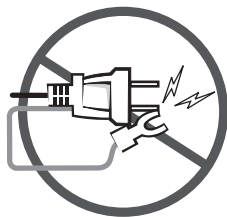
2

コンピュータのセットアップ

AC アダプタの接続

1 AC アダプタをコンピュータの AC アダプタコネクタに接続します。

 警告：AC アダプタの電源コードは、お使いの Dell ノートブックコンピュータでのみ使用されることをお勧めします。

 警告：緑色のアース線をコンセントに接続する場合は、絶対に緑色のアース線と電源プラグの先端部とを接触させないでください。感電、発火、またはコンピュータが損傷する恐れがあります（次の図を参照）。

2 緑色のアース線をコンセントに接続しない場合は、手順 6 に進みます。

 警告：緑色のアース線を電源コードに固定している 2 本のナイロン製のひもを取り除く際に、アース線または AC アダプタの電源コードを切らないでください。

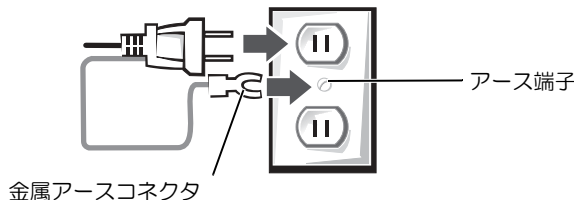
3 緑色のアース線を AC アダプタの電源コードに固定している 2 本のナイロン製のひもを取り除きます。

4 金属アースコネクタからカバーを取り外します。

ノートブックコンピュータを持ち運ぶ場合は、あとで使用するときのためにカバーを保管しておきます。

5 金属アースコネクタをコンセントのアース端子に接続します（次の図を参照）。

a アース端子のネジをゆるめます。

b 金属アースコネクタをアース端子の後ろ側に挿入して、アース端子のネジを締めます。

6 AC アダプタの電源コードをコンセントに接続します。

インターネットへの接続

メモ：ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および AOL や MSN などの ISP（インターネットサービスプロバイダ）が必要です。ISP は、1 つまたは複数の以下のインターネット接続オプションを提供します。

- 電話回線を経由してインターネットにアクセスできるダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べて速度がかなり遅くなります。
- 既存の電話回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供する DSL 接続。DSL 接続を使用している場合は、1 つの回線でインターネットへのアクセスと電話を同時に使用できます。
- 既存のケーブルテレビ回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム接続。

ダイヤルアップ接続をお使いの場合は、インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび壁の電話コンセントに電話線を接続します。17 ページの「背面図」を参照してください。

DSL またはケーブルモデム接続を使用している場合のセットアップ手順については、ご利用の ISP にお問い合せください。

インターネット接続のセットアップ

AOL または MSN 接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2 Microsoft® Windows® デスクトップの **MSN Explorer** または **AOL** アイコンをダブルクリックします。
3 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに **MSN Explorer** または **AOL** アイコンがない場合は、または別の ISP を使ってインターネット接続をセットアップしたい場合は、次の手順を実行します。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 **スタート** ボタンをクリックして、**Internet Explorer** をクリックします。

新しい接続ウィザード が表示されます。

3 **インターネットに接続する** をクリックします。

4 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。

- ISP と契約されておらず、その 1 つを選びたい場合は、**インターネットサービスプロバイダ（ISP）の一覧から選択する** をクリックします。
- ISP からセットアップ情報を入手済みではあるけれどもセットアップ CD をお持ちでない場合は、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
- CD をお持ちの場合は、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。

5 **次へ** をクリックします。

接続を手動でセットアップする を選択した場合には、手順 6 に進んでください。それ以外の場合は、画面の手順に従ってセットアップを完了してください。

メモ : どの種類の接続を選んだらよいかわからない場合は、ご契約の ISP にお問い合わせください。

6 **インターネットにどのように接続しますか ?** で設定するオプションをクリックし、**次へ** をクリックします。

7 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

モデムおよびインターネット接続の問題

注意 : モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。デジタル電話回線（ISDN）に接続した場合は、モデムの故障原因となります。

注意 : モデムおよびネットワークコネクタは同じように見えます。電話回線をネットワークコネクタに接続しないでください。17 ページの「背面図」を参照してください。

電話ジャックを確認します — モデムから電話線を外して、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。プッシュホンサービスを受けているか確認します。モデムを別の電話ジャックに接続してみます。

電話回線やネットワーク状況などによって生じる電話機のノイズのため、接続速度が遅くなる場合があります。詳細に関しては、電話会社またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

モデムを直接電話ジャックへ接続します — 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、および電話線分岐タップなど、同じ回線に接続されている電話機器を取り外し、電話線を使ってモデムを壁の電話プラグに直接接続してみます。

接続を確認します — 電話線がモデムに接続されているかどうかを確認します。

電話線を確認します — 他の電話線を使用してみます。3 メートル以内の電話線を使用します。

聞きなれないダイヤル音 — ボイスメールサービスを受けている場合は、メッセージを受けたときに聞きなれないダイヤル音がすることがあります。ダイヤル音を元に戻す手順については、電話会社にお問い合わせください。

キャッチホン機能の設定を解除します — キャッチホン機能を解除します。次に、ダイヤルアップネットワークを調整します。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックし、**電話とモデムのオプション** をクリックし、**ダイヤル情報** タブをクリックして、**編集** をクリックします。
3 **所在地の編集** ウィンドウで **キャッチホン機能を解除するための番号** にチェックマークが付いているかどうかを確認し、一覧でコードをクリックするか、または電話会社から提供されたシーケンスを入力します。
4 **適用** をクリックし、**OK** をクリックします。
5 **電話とモデムのオプション** ウィンドウを閉じます。
6 **コントロールパネル** ウィンドウを閉じます。

モデムが WINDOWS と通信しているかどうかを確認します —

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックし、**電話とモデムのオプション** をクリックします。
3 **モデム** タブをクリックします。
4 モデムの COM ポートをクリックします。
5 Windows がモデムを検出したか確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。

すべてのコマンドに応答がある場合は、モデムは正しく動作しています。

メモ： ISP（Internet Service Provider）に接続できる場合は、モデムは正常に機能しています。モデムが正常に機能しているのに、問題が解決できない場合は、ご利用の ISP にお問い合わせください。

新しいコンピュータへの情報の転送

Microsoft® Windows® XP のオペレーティングシステムでは、ソースコンピュータから新しいコンピュータにデータを転送するためのファイルと設定の転送ウィザードを提供しています。下記のデータが転送できます。

- E- メール
- ツールバーの設定
- ウィンドウのサイズ
- インターネットのブックマーク

新しいコンピュータにネットワークまたはシリアル接続を介してデータを転送したり、書き込み可能 CD、またはフロッピーディスクなどのリムーバブルメディアにデータを保存したりできます。

メモ： お使いのコンピュータがドッキングデバイスに接続している場合のみ、シリアル接続を介して新しいコンピュータにデータを転送できます。

新しいコンピュータに情報を転送するには ...

1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** をポイントして、**ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックします。
2 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
3 **これはどちらのコンピュータですか？** 画面で **転送先の新しいコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。
4 **Windows XP CD がありますか?** 画面で **Windows XP CD からウィザードを使います** をクリックし、次へをクリックします。
5 **古いコンピュータに行ってください** 画面が表示されたら、古いコンピュータまたはソースコンピュータに行きます。このときに、**次へ** をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーするには ...

1. 古いコンピュータで、Windows XP の『オペレーティングシステム CD』を挿入します。
2. **Microsoft Windows XP** 画面で、**追加のタスクを実行する** をクリックします。
3. **実行する操作の選択** で **ファイルと設定を転送する** をクリックします。
4. **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
5. **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で **転送先の古いコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。
6. **転送方法を選択してください** 画面で希望の転送方法をクリックします。
7. **何を転送しますか ?** 画面で転送する項目を選択し、**次へ** をクリックします。

   情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。
8. **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには ...

1. 新しいコンピュータの **古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。
2. **ファイルと設定はどこにありますか ?** 画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ** をクリックします。

   ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それを新しいコンピュータに適用します。

   設定とファイルがすべて適用されると、**収集フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。
3. **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

プリンタのセットアップ

注意 : オペレーティングシステムのセットアップを完了してから、プリンタをコンピュータに接続してください。

以下の手順を含むセットアップ情報については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

- アップデートドライバの入手とインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 給紙およびトナー、またはインクカートリッジの取り付け
- プリンタの製造元からのテクニカルサポート

プリンタケーブル

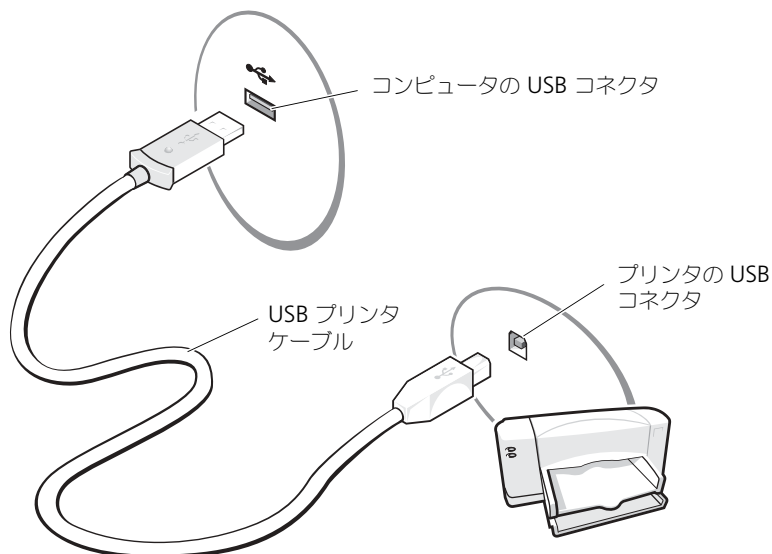
プリンタにはプリンタケーブルが付属されていない場合があります。ケーブルを別に購入する際は、プリンタと互換性があることを確認してください。コンピュータと一緒にプリンタケーブルを購入された場合は、ケーブルはコンピュータの箱に同梱されています。

USB プリンタの接続

メモ : USB デバイスは、コンピュータに電源が入っている状態でも、接続することができます。

1. オペレーティングシステムをまだセットアップしていない場合は、セットアップを完了します。

2 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

3 コンピュータとプリンタの USB コネクタに USB プリンタケーブルを差し込みます。USB コネクタは一方向にしか差し込めません。

プリンタの問題

プリンタケーブルの接続を確認します — プリンタケーブルが適切にコンピュータに接続されているかどうかを確認してください（25 ページを参照）。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

プリンタの電源が入っているかどうか確認します — プリンタのマニュアルを参照してください。

WINDOWS® がプリンタを認識しているかどうかを確認します

1 **スタート** ボタンをクリックします。
2 **コントロールパネル** をクリックします。
3 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
4 **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** をクリックします。プリンタが表示されている場合は、プリンタのアイコンを右クリックします。
5 **プロパティ** をクリックして **ポート** タブをクリックします。
6 **印刷するポート** を **LPT1：プリンタポート** に設定します。

プリンタドライバを再インストールします — 72 ページを参照してください。

ネットワーク接続のためのドッキングデバイスのセットアップ

メモ：ネットワークアダプタは NIC（network interface controller）とも呼ばれます。

注意：ドッキングデバイスのセットアップが完了するまでは、ネットワークアダプタまたはネットワークアダプタ / モデムコンビネーション PC カードを取り付けないでください。

注意：オペレーティングシステムの重大な問題を防ぐため、コンピュータが Windows オペレーティングシステムのセットアップを完了するまでは、コンピュータにドッキングデバイスを接続しないでください。

ドッキングデバイスを使って、お使いのノートブックコンピュータをデスクトップにより近い環境へ統合させることができます。

ドッキングデバイスのセットアップ手順および詳細については、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

電源保護装置

電圧変動や電力障害の影響からシステムを保護するために、電源保護装置が利用できます。

- サージプロテクタ
- ラインコンディショナ（回線調整装置）
- 無停電電源装置（UPS）

サージプロテクタ

サージプロテクタやサージプロテクト機能付き電源タップは、雷雨中または停電の後に発生する恐れのある電圧スパイクによるコンピュータへの損傷を防ぐために役立ちます。通常、保護レベルはサージプロテクタの価格と見合ったものになります。サージプロテクタの製造業者によっては、特定の種類の損傷に対して保証範囲を設けています。サージプロテクタを選ぶ際は、装置の保証書をよくお読みください。ジュール定格が高いほど、デバイスをより保護できます。ほかの装置と比較して有効性を判断するには、ジュール定格を比較します。

注意：ほとんどのサージプロテクタには、電力の変動または落雷による電撃に対する保護機能はありません。お住まいの地域で雷が発生した場合は、電話線を電話ジャックから抜いて、さらにコンピュータをコンセントから抜いてください。

サージプロテクタの多くは、モデムを保護するための電話ジャックを備えています。モデム接続の手順については、サージプロテクタのマニュアルを参照してください。

注意：すべてのサージプロテクタが、ネットワークアダプタを保護できるわけではありません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックから抜いてください。

ラインコンディショナ

注意：ラインコンディショナには、停電に対する保護機能はありません。

ラインコンディショナは AC 電圧を適切に一定のレベルに保つよう設計されています。

無停電電源装置

注意：データをハードドライブに保存している間に電力が低下すると、データを損失したりファイルが損傷したりする恐れがあります。

メモ : バッテリーの最大駆動時間を確認するには、お使いのコンピュータのみを UPS に接続します。プリンタなどその他のデバイスは、サージプロテクトの付いた別の電源タップに接続します。

UPS は電圧変動および停電からの保護に役立ちます。UPS 装置は、AC 電源が切れた際に、接続されているデバイスへ一時的に電力を供給するバッテリーを備えています。バッテリーは AC 電源が利用できる間に充電されます。バッテリーの駆動時間についての情報、および装置が UL（Underwriters Laboratories）規格に適合しているか確認するには、UPS 製造業者のマニュアルを参照してください。

コンピュータのシャットダウン

注意 : データの損失を防ぐには、電源ボタンを押さずに、以下に従って Microsoft® Windows® のオペレーティングシステムをシャットダウンしてコンピュータの電源を切ってください。

メモ : コンピュータの電源を切る代わりに、スタンバイモードまたは休止状態モードに入るよう設定することができます。

1 開いているすべてのプログラムやファイルを保存して終了します。**スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。

2 **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。

シャットダウン処理が完了すると、コンピュータの電源が切れます。

3

バッテリーとモジュールベイデバイスの使い方

バッテリーの使い方

警告 : 以下に挙げる手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための手順を読み、従ってください。

バッテリーの性能

メモ : ノートブックコンピュータ用のバッテリーは、コンピュータの保証期間の最初の 1 年間に限り保証されます。

コンピュータをコンセントに接続しなくても、バッテリーを使ってコンピュータに電力を供給することができます。バッテリーベイにはバッテリーが 1 つ、標準で搭載されています。

バッテリーの動作時間は、使用状況によって異なります。平均的な使用方法の場合、完全に充電されているバッテリー 1 つで 3 〜 4 時間の操作ができます。オプションのセカンドバッテリーをモジュールベイに取り付けると、動作時間を大幅に長くすることができます。セカンドバッテリーの詳細に関しては、33 ページを参照してください。

メモ : お使いのコンピュータのモジュールベイは、セカンドバッテリーをサポートします。Dell D/Bay はセカンドバッテリーをサポートしません。

次のような場合、バッテリーの持続時間は著しく短くなりますが、これらの場合に限定されません。

メモ : CD に書き込みをしている際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。

- オプティカルドライブ、特に DVD ドライブおよび CD-RW ドライブを使用している場合
- ワイヤレス通信デバイス、PC カード、または USB デバイスを使用している場合
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または 3D ゲームなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用したりしている場合
- コンピュータを最大性能の状態で実行した場合

バッテリー充電量を確認してから、バッテリーをコンピュータに接続してください。バッテリーの充電量が少なくなると、警告を発するように電源管理のオプションを設定することもできます。

メモ : お持ちのグラフィックカードにある **最小電力** オプションを設定することにより、バッテリーを節約できます。詳細に関しては、グラフィックスカードに付属の冊子を参照してください。

警告 : 適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。リチウムイオンバッテリーは、Dell™ コンピュータ専用です。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。

警告 : バッテリーを家庭用のごみと一緒に捨てないでください。不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（電話 044-556-3481）へお問い合わせください。

警告：バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリーに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、または温度が 65 ℃を超える場所に置いたりしないでください。バッテリーはお子様の手の届かない所に保管してください。損傷のあるバッテリー、または漏れているバッテリーの取り扱いには、特に気を付けてください。バッテリーが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしたり装置を損傷したりする恐れがあります。

バッテリーの充電チェック

Dell QuickSet バッテリメーター、Microsoft® Windows® 電源メーターウィンドウと アイコン、バッテリー充電ゲージ、およびバッテリーの低下を知らせる警告は、バッテリー充電の情報を提供します。

セカンドバッテリーの充電をチェックする詳細に関しては、34 ページを参照してください。

Dell QuickSet バッテリメーター

Fn F3 を押して、QuickSet の **バッテリメーター** を表示します。

バッテリメーター 画面は、お使いのコンピュータのプライマリバッテリーおよびセカンドバッテリーの現在の状況、充電レベル、および充電完了時間を表示します。

メモ： CD に書き込みをしている際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。

また、コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、**バッテリメーター** 画面には、充電レベルおよびドッキングデバイスバッテリーの現状を表示する **バッテリのドッキング** タブが含まれます。

バッテリメーター 画面では、以下のアイコンが表示されます。

	• コンピュータまたはドッキングデバイスが、バッテリー電源で動作している • バッテリーが切れているまたはアイドル状態
	• コンピュータまたはドッキングデバイスがコンセントに接続されていて、AC 電源で動作している • バッテリーの充電中
	• コンピュータまたはドッキングデバイスがコンセントに接続されていて、AC 電源で動作している • バッテリーが挿入されていない、放電中、アイドル状態、または充電中である

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックします。

Microsoft Windows 電源メーター

Windows の電源メーターは、バッテリーの充電残量を示します。電源メーターを確認するには、タスクバーの アイコンをダブルクリックします。**電源メーター** タブの詳細に関しては、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、63 ページを参照してください。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 アイコンが表示されます。

充電ゲージ

バッテリーを挿入する前に、バッテリーの充電ゲージにあるボタンを押すと、充電レベルインジケータライトが点灯します。各々のライトはバッテリーの総充電量の約 20 % を表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80 % なら 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯しない場合、そのバッテリーは充電されていません。

機能ゲージ

バッテリーの動作時間は、充電される回数によって大きく左右されます。何百回も充電と放電を繰り返したバッテリーは、充電量が減り、状態も悪くなります。バッテリー機能を確認するには、バッテリー充電ゲージのステータスボタンを 3 秒以上押します。どのライトも点灯しない場合、バッテリーの機能は良好で、初期の充電容量の 80 % 以上を維持しています。各ライトは機能低下の割合を示します。ライトが 5 つ点灯した場合、バッテリーの充電容量は 60 % 以下になっていますので、バッテリーを交換した方が良いかもしれません。バッテリー駆動時間の詳細に関しては、95 ページを参照してください。

バッテリーの低下を知らせる警告

注意 : データの損失またはデータの破損を防ぐため、バッテリーの低下を知らせる警告音が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存してください。次に、コンピュータをコンセントに接続するか、またはモジュールベイにセカンドバッテリーを取り付けてください。バッテリーの充電残量が完全になくなると、自動的に休止状態モードに入ります。

バッテリーの低下を知らせる警告は、バッテリーの約 90 % を消費した時点で発せられます。コンピュータから、バッテリー駆動時間が残りわずかしかないことを知らせるブザーが 1 回鳴ります。その間、スピーカーは定期的にビープ音を鳴らします。バッテリーを 2 つ取り付けている場合は、バッテリーの低下を知らせる警告は、両方のバッテリーを合わせた充電残量が 90 % 消費されたことを意味します。バッテリーの残量が非常に少なくなると、コンピュータは自動的に休止状態モードに入ります。バッテリ低下アラームの詳細に関しては、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、63 ページを参照してください。

バッテリーの充電

メモ : 完全に切れてしまったバッテリーを AC アダプタで充電するには、コンピュータの電源が切れている場合で約 1 時間かかります。コンピュータの電源が入っている場合は、充電時間は長くなります。バッテリーはコンピュータに取り付けたままにしておいても問題ありません。バッテリーの内部回路が過剰充電を防ぎます。

コンピュータをコンセントに接続したり、コンセントに接続されているコンピュータにバッテリーを取り付けたりすると、コンピュータはバッテリーの充電状態と温度をチェックします。AC アダプタはその後、必要に応じてバッテリーを充電し、充電を維持します。

バッテリーがコンピュータの使用中に高温になったり高温の環境に置かれたりすると、コンピュータをコンセントに接続してもバッテリーが充電されない場合があります。

のライトが緑色と橙色を交互に繰り返して点滅させる場合は、バッテリーが高温すぎて充電が開始できない状態です。コンピュータをシャットダウンし、コンピュータの電源を抜いて、コンピュータとバッテリーの温度を室温まで下げます。次に、コンピュータをコンセントに接続し、充電を継続します。

バッテリーの問題の解決の詳細に関しては、32 ページを参照してください。

バッテリーの取り外し

セカンドバッテリーの取り外しの詳細に関しては、32 ページを参照してください。

 警告：次の手順を実行する前に、コンピュータの電源を切り、コンピュータをコンセントから抜いて、モデムを壁の電話コンセントから抜いてください。

1. コンピュータの電源が切れているか、休止状態モードでサスペンドされているか、あるいはコンセントに差し込まれていることを確認してください。
2. コンピュータをドッキングデバイスに接続している場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
3. コンピュータの下にあるバッテリーベイ（またはモジュールベイ）リリースラッチをスライドしたまま保持し、ベイからバッテリーを取り外します。

バッテリーの取り付け

リリースラッチのカチッという感触が得られるまで、ベイにバッテリーを回し込みます。

セカンドバッテリーの取り付けの詳細に関しては、32 ページを参照してください。

バッテリーの保管

長期間コンピュータを保管する場合は、バッテリーを取り外してください。バッテリーは、長期間保管していると放電します。長期間保管後にコンピュータをお使いになるときは、完全にバッテリーを再充電してください。

電源の問題

電源ライトを確認します — 電源ライトが点灯または点滅している場合は、コンピュータに電源が入っています。点滅している場合は、コンピュータがスタンバイモードに入っています。電源ボタンを押してスタンバイモードを終了します。ライトが消灯している場合、電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。

バッテリーの温度を確認してください — バッテリーの温度が 0 ℃未満では、コンピュータは起動しません。

バッテリーを充電します — バッテリーが充電されていないことがあります。

1. バッテリーを取り付けなおします。
2. AC アダプタをコンピュータとコンセントに接続して使用します。

3 コンピュータの電源を入れます。

バッテリーステータスライトを確認します — バッテリーステータスライトが橙色に点滅しているか橙色に点灯している場合は、バッテリーの充電が不足しているか、または充電されていません。コンピュータをコンセントに接続します。

バッテリーステータスライトが緑色と橙色に点滅している場合は、バッテリーが高温になっていて、充電できません。コンピュータの電源を切り（28 ページを参照）、コンピュータをコンセントから抜き、コンピュータとバッテリーを室温に戻します。

バッテリーステータスライトが橙色に速く点滅している場合は、バッテリーが不良である可能性があります。デルへお問い合わせください（100 ページを参照）。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合は、ライトが点灯しているかどうか確認します。

コンピュータを直接コンセントへ接続します — お使いの電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

電源のプロパティを調整します —『はじめよう』ヘルプファイルを参照するか、ヘルプとサポートセンターで「スタンバイ」というキーワードを検索します。ヘルプファイルにアクセスするには、63 ページを参照してください。

メモリモジュールを再度取り付けます — コンピュータの電源ライトは点灯しているのに、画面に何も表示されない場合は、メモリモジュールを再度取り付けます（79 ページを参照）。

モジュールベイについて

メモ：モジュールベイでは、D シリーズのモジュールのみ使用可能です。

モジュールベイには、フロッピードライブ、CD ドライブ、CD-RW ドライブ、DVD ドライブ、CD-RW/DVD ドライブ、DVD+RW、Dell TravelLite™ モジュール、セカンドバッテリー、セカンドハードドライブなどのデバイスを取り付けることができます。

メモ：モジュールベイに取り付けているすべてのデバイス（セカンドバッテリーを除く）は、Dell D/Bay に取り付けることもできます。

お使いの Dell™ コンピュータには、出荷時にオプティカルドライブがモジュールベイに取り付けられています。ただし、オプティカルドライブにデバイスネジは取り付けられていません。別に梱包されています。モジュールベイにデバイスを取り付ける際に、デバイスネジを取り付けてください。

メモ：セキュリティの目的でコンピュータにモジュールを固定する場合を除いて、デバイスネジを取り付ける必要はありません。

セカンドバッテリーの充電チェック

セカンドバッテリーを取り付ける前に、バッテリー充電ゲージのステータスボタンを押すと充電レベルインジケータライトが点灯します。各々のライトはバッテリーの総充電量の約 20 % を表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80 % なら 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量が残っていないことになります。

コンピュータが停止中の場合のデバイスの取り外しと取り付け

お使いのコンピュータには出荷時に、オプティカルドライブがモジュールベイに取り付けられています。ただし、オプティカルドライブにデバイスネジは取り付けられていません。別に梱包されています。モジュールベイにデバイスを取り付ける際に、デバイスネジを取り付けてください。

 メモ : セキュリティの目的でコンピュータにモジュールを固定する場合を除いて、デバイスネジを取り付ける必要はありません。

デバイスネジが取り付けられていない場合

注意 : デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けない場合、デバイスは、乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

1 デバイスリリースラッチを押します。

2 デバイスをモジュールベイから取り出します。

3 新しいデバイスをベイに挿入して、カチッという感触が持てるまでデバイスを押し込みます。

デバイスネジが取り付けられている場合

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします（28 ページを参照）。

2　コンピュータをドッキングデバイスに接続している場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

注意 : デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けない場合、デバイスは、乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

3　ディスプレイを閉じて、コンピュータを裏返します。

4　1 番のプラスドライバを使って、コンピュータの底面からデバイスネジを外します。

5　デバイスリリースラッチを押します。

6 デバイスをモジュールベイから取り出します。

注意： デバイスをモジュールベイに取り付けてから、コンピュータをドッキングデバイスに接続し、コンピュータの電源を入れます。

7 新しいデバイスをベイに挿入して、カチッという感触が持てるまでデバイスを押し込みます。
8 ドライブネジを取り付けます。
9 コンピュータの電源を入れます。

コンピュータが実行中の場合のデバイスの取り外しと取り付け

メモ： デバイスネジが取り付けられていない場合、コンピュータが動作していて、ドッキングデバイスに接続されている間でも、デバイスを取り外したり、取り付けたりできます。

お使いのコンピュータには出荷時に、オプティカルドライブがモジュールベイに取り付けられています。ただし、オプティカルドライブにデバイスネジは取り付けられていません。別に梱包されています。モジュールベイにデバイスを取り付ける際に、デバイスネジを取り付けてください。

メモ： セキュリティの目的でコンピュータにモジュールを固定する場合を除いて、デバイスネジを取り付ける必要はありません。

デバイスネジが取り付けられていない場合

1 タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。
2 取り外すデバイスをクリックして、**停止** をクリックします。

注意： デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けない場合、デバイスは、乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

3 デバイスリリースラッチを押します。

4 デバイスをモジュールベイから取り出します。

5 新しいデバイスをベイに挿入して、カチッという感触が持てるまでデバイスを押し込みます。Windows XP は自動的に新しいデバイスを認識します。
6 必要に応じて、パスワードを入力してコンピュータのロックを解除します。

デバイスネジが取り付けられている場合

1 タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。
2 取り外すデバイスをクリックして、**停止** をクリックします。
3 コンピュータをドッキングデバイスに接続している場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

注意 : デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けない場合、デバイスは、乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

4 1 番のプラスドライバを使って、コンピュータの底面からデバイスネジを外します。
5 デバイスリリースラッチを押します。

6 デバイスをモジュールベイから取り出します。

7 新しいデバイスをベイに挿入し、カチッという感触が持てるまでデバイスを押し込んでから、ネジを取り付けます。Windows XP は自動的に新しいデバイスを認識します。

8 必要に応じて、パスワードを入力してコンピュータのロックを解除します。

4

キーボードとタッチパッドの使い方

テンキーパッド

キーパッドの数字と記号文字は、キーパッドキーの右側に青色で記されています。数字や記号を入力するには、キーパッドが有効になっていることを確認し、Fn と入力するキーを押します。 のライトの点灯は、キーパッドが有効であることを示しています。

キーボードのショートカット

システム機能

タスクマネージャ ウィンドウを開きます。

テンキーパッドを有効または無効にします。

Scroll Lock 機能を有効または無効にします。

バッテリー

Fn F3	Dell™ QuickSet バッテリメーターの表示。

CD または DVD トレイ

Fn F10	機能するには、Dell QuickSet が必要です。トレイをドライブから取り出します。

ディスプレイ関連

画面モードの表示を次の順に切り替えます。内蔵モニターのみ、内蔵モニターと外付けの CRT モニター、外付けの CRT モニターのみ、内蔵モニターと外付けの DVI モニター、外付けの DVI モニターのみ、外付けの CRT モニターと外付けの DVI モニター。

内蔵ディスプレイの輝度を上げます（外付けモニターには適用されません）。

内蔵ディスプレイの輝度を下げます（外付けモニターには適用されません）。

無線通信（ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth™ を含む）

Fn F2	ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth を含む無線通信を有効または無効にします。

電力の管理

Fn Esc Suspend

選択した省電力モードを起動します。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **詳細設定** タブでショートカットキーを設定できます。

スピーカー関連

スピーカーから何も聞こえない場合、Fn End を押して、ボリュームを調節します。

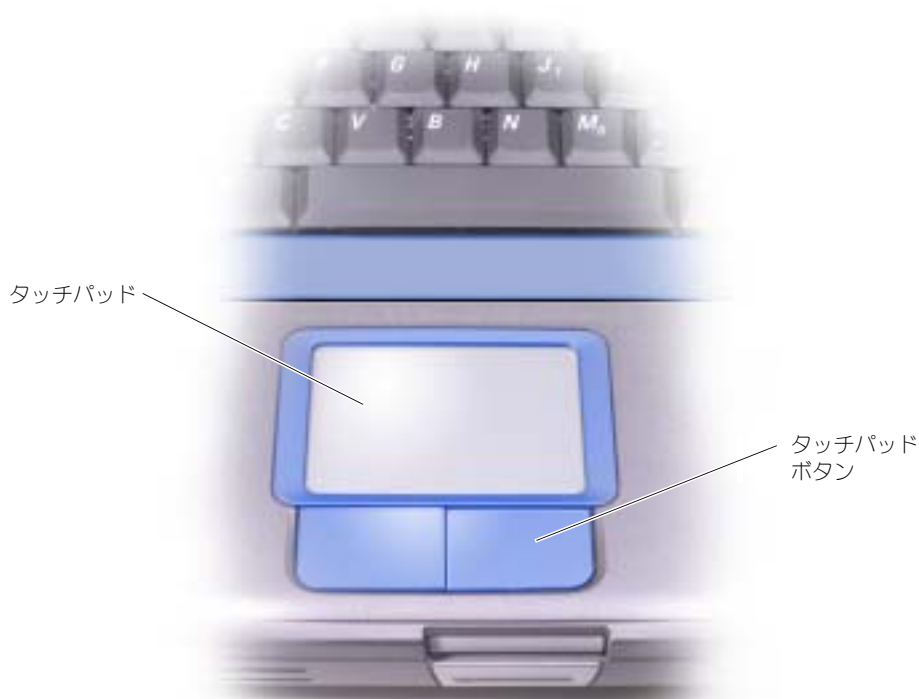
キー	説明
Fn Page Up	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を上げます。
Fn Page Dn	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を下げます。
Fn End	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）を有効または無効にします。

Microsoft® Windows® ロゴキー関連

キー	説明
Windows ロゴキー M	すべてのウィンドウを最小化します。
Windows ロゴキー Shift M	すべてのウィンドウを最大化します。
Windows ロゴキー E	Windows エクスプローラを開きます。
Windows ロゴキー R	**ファイルを指定して実行** ダイアログボックスが開きます。
Windows ロゴキー F	**検索結果** ダイアログボックスが開きます。
Windows ロゴキー Ctrl F	**検索結果ーコンピュータ** ダイアログボックスが開きます（ネットワークに接続している場合）。
Windows ロゴキー Pause Break	**システムのプロパティ** ダイアログボックスが開きます。

文字繰り返しレートなどのキーボードの動作を調整するには、**コントロールパネル** を開いて、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックしてから、**キーボード** をクリックします。

タッチパッド

タッチパッドは、指の圧力と動きを検知して画面のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことができます。

- カーソルを動かすには、タッチパッド上でそっと指をスライドします。
- オブジェクトを選択するには、タッチパッドの表面を軽く 1 回たたくか、または親指で左のタッチパッドボタンを押します。
- オブジェクトを選択して移動（あるいはドラッグ）するには、カーソルをオブジェクト上に動かし、タッチパッドを指で軽く一回叩き、二回目は指をタッチパッド上に留めます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指を離さずに、そのままタッチパッドの表面で指をスライドしてオブジェクトを移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、ダブルクリックするオブジェクトにカーソルを合わせて、タッチパッド上を 2 回たたくか、または親指で左のタッチパッドボタンを 2 回押します。

タッチパッドのカスタマイズ

マウスのプロパティ ウィンドウを使って、タッチパッドを無効にしたり設定を調整したりすることができます。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。**マウス** をクリックします。
2 **マウスのプロパティ** ウィンドウでは、以下のことができます。
   - **デバイスの選択** タブをクリックして、タッチパッドを無効にします。
   - **ポインタ** タブをクリックして、タッチパッドの設定を調節します。
3 希望の設定を選択して、**適用** をクリックします。
4 **OK** をクリックし、設定を保存して、ウィンドウを閉じます。

タッチパッドまたはマウスの問題

タッチパッドの設定を確認します —

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
2 **マウス** をクリックします。
3 設定を変更してみます。

マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します —

1 コンピュータをシャットダウンします（28 ページを参照）。
2 マウスを外します。
3 コンピュータの電源を入れます。
4 Windows デスクトップで、タッチパッドを使用してカーソルを動かし、アイコンを選択して開きます。

タッチパッドが正常に動作する場合は、マウスが不良の可能性があります。

タッチパッドドライバを再インストールします — 72 ページを参照してください。

外付けキーボードの問題

キーボードケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンします（28 ページを参照）。キーボードケーブルを外して、損傷していないか確認します。

キーボード延長ケーブルを使用している場合は、延長ケーブルを外してキーボードを直接コンピュータに接続します。

外付けキーボードを確認します —

1 コンピュータの電源を切り、1 分待ってから再度コンピュータの電源を入れます。
2 起動ルーチン中にキーボード上の NumLock、CapsLock、および Scroll Lock ライトの点滅状態を確認します。
3 Windows® デスクトップから、**スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム**、**アクセサリ** の順にポイントして、**メモ帳** をクリックします。
4 外付けキーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

これらの手順が確認できない場合は、外付けキーボードに問題がある可能性があります。

問題が外付けのキーボードにあるかどうかを検証するには、内蔵キーボードを調べます —

1 コンピュータの電源を切ります。
2 外付けキーボードを取り外します。
3 コンピュータの電源を入れます。

4 Windows デスクトップから、**スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム**、**アクセサリ** の順にポイントして、**メモ帳** をクリックします。
5 内蔵キーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

内蔵キーボードでは文字が表示されるのに外付けキーボードでは表示されない場合は、外付けキーボードに問題がある可能性があります。デルにお問い合わせください（100 ページを参照）。

メモ：外付けキーボードを接続した場合、内蔵キーボードはそのまますべての機能を使用できます。

入力時の問題

テンキーパッドを無効にします — 文字の代わりに数字が表示される場合は、Num Lk Scroll Lk を押してテンキーパッドを無効にします。Num Lock のライトが点灯していないことを確認します。

5

CD、DVD、および その他のマルチメディアの使い方

CD および DVD のコピー

メモ：CD または DVD を作成する際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

本項は、CD-R、CD-RW、DVD+RW、DVD+R、または DVD/CD-RW コンボドライブを備えたコンピュータにだけ適用されます。

以下の手順では、CD または DVD を完全にコピーする方法について説明します。Sonic RecordNow は、コンピュータ上のオーディオファイルから CD を作成したり、MP3 CD の作成などの目的にも使用できます。Sonic RecordNow の手順については、コンピュータに付属の Sonic RecordNow のマニュアルを参照してください。Sonic RecordNow を開き、ウィンドウの右上にある疑問符（?）のアイコンをクリックし、**RecordNow のヘルプ** または **RecordNow チュートリアル** をクリックします。

CD または DVD のコピーの仕方

メモ：お使いのコンピュータに DVD/CD-RW コンボドライブが備わっていて、書き込みについて過去に問題があった場合は、Sonic サポートサイト（**sonicjapan.co.jp/support**）から入手できるソフトウェアパッチを確認してください。

現時点では、次の 5 つの DVD 書き込み可能ディスクフォーマットが使用できます。DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW、DVD-RAM です。Dell™ コンピュータにインストールされている DVD 書き込み可能ドライブでは、DVD+R および DVD+RW メディアへの書き込みと、DVD-R および DVD-RW メディアへの読み取りが行えますが、DVD-RAM メディアへの書き込みはできず、読み取りもできない場合があります。市販されているホームシアターシステム用の DVD プレイヤーには、5 つのフォーマットをすべて読み取れるものとそうでないものがあります。

メモ：市販の DVD の大部分は著作権のプロテクションがかかっており、Sonic RecordNow を使用してコピーすることはできません。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **Sonic**→ **RecordNow!**→ **RecordNow!** をポイントします。
2 コピーする CD または DVD の種類に応じて、オーディオタブまたはデータタブのいずれかをクリックします。
3 **バックアップ** をクリックします。
4 CD または DVD をコピーするには、
   - CD または DVD ドライブが 1 つしかない場合、設定が正しいことを確認し、**バックアップ** をクリックします。コンピュータがソース CD または DVD を読み取り、コンピュータのハードドライブの一時フォルダにコピーします。
     プロンプトが表示されたら、CD または DVD ドライブに空の CD または DVD を挿入し、**OK** をクリックします。

- CD または DVD ドライブが 2 つある場合、ソース CD または DVD を入れたドライブを選択し、**バックアップ** をクリックします。コンピュータがソース CD または DVD のデータを空の CD または DVD にコピーします。

ソース CD または DVD のコピーが終了すると、作成された CD または DVD は自動的に出てきます。

空の CD-R、CD-RW、DVD+R、DVD+RW の使用

この CD-RW ドライブは、2 タイプの記録メディア、CD-R および CD-RW（高速 CD-RW を含む）に書き込むことができます。音楽や永久保存データファイルを記録するには、空の CD-R を使用してください。CD-R の作成後、記録方法を変更しない限り、この CD-R を上書きすることはできません（詳細に関しては、Sonic のマニュアルを参照してください）。CD に書き込んだり、CD のデータを消去、上書き、またはアップデートするには、空の CD-RW を使用してください。

この DVD 書き込み可能ドライブは、4 タイプの記録メディア、CD-R、CD-RW（高速 CD-RW を含む）、DVD+R、DVD+RW に書き込むことができます。大量の情報を永久保存するには、空の DVD+R を使用します。DVD+R ディスクを作成した後で、そのディスクに再度書き込むことができるかどうかは、そのディスクが「終了済み」または「クローズ済み」（ディスク作成プロセスの最終段階）かどうかによって異なります。ディスク上の情報を後で消去、書き換え、または更新する場合は、空の DVD+RW を使用してください。

便利なヒント

- Sonic RecordNow を開始し、RecordNow プロジェクトを開いた後であれば、Microsoft® Windows® Explorer を使用してファイルを CD-R または CD-RW にドラッグ＆ドロップすることができます。
- コピーした音楽 CD を一般的なステレオで再生させるには、CD-R を使用する必要があります。CD-RW はほとんどの自宅または車のステレオで再生することはできません。
- Sonic RecordNow を使用して、オーディオ DVD を作成することはできません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーでのみ、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- 空の CD-R または CD-RW を最大容量までコピーしないでください。たとえば、650 MB のファイルを 650 MB の空の CD にコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で 1 MB または 2 MB の空きがあることが必要です。
- CD への記録について操作に慣れるまで練習するには、空の CD-RW を使用してください。CD-RW なら、失敗しても CD-RW のデータを消去してやりなおすことができます。空の CD-RW ディスクを使用して、空の CD-R ディスクに恒久的にプロジェクトを記録する前に、音楽ファイルプロジェクトをテストすることもできます。

詳細に関しては、Sonic サポートサイト **sonicjapan.co.jp/support** を参照してください。

テレビまたはオーディオデバイスへのコンピュータの接続

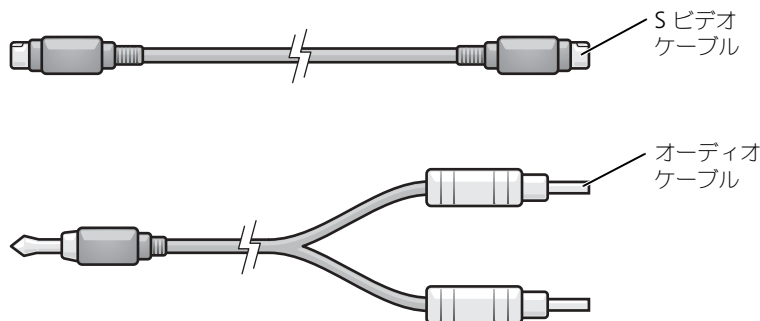
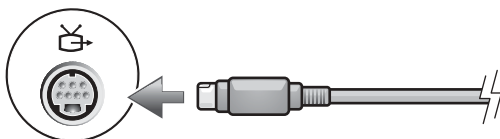
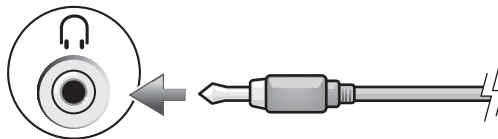
メモ： テレビまたはその他のオーディオデバイスとコンピュータを接続するビデオケーブルとオーディオケーブルは、お使いのコンピュータには付属していません。必要なケーブルは、お近くの電気店でお買い求めください。コンポジット TV 出力アダプタケーブルは、Dell からお買い求めいただけます。

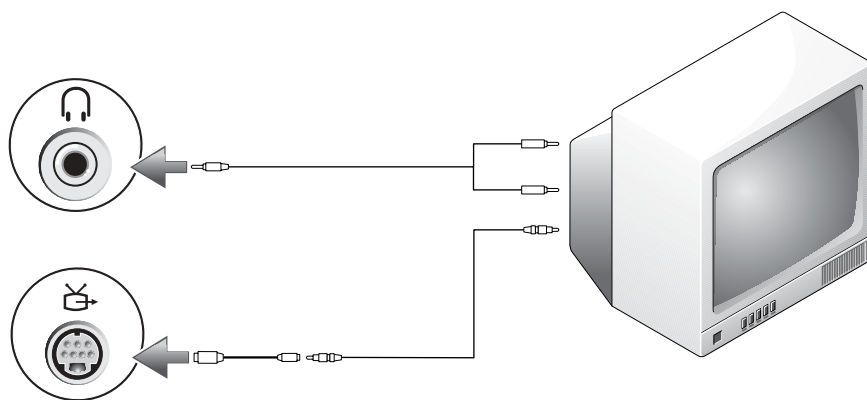
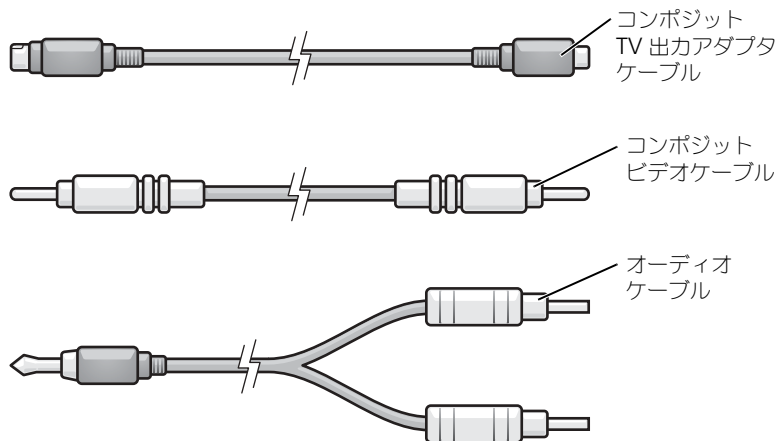
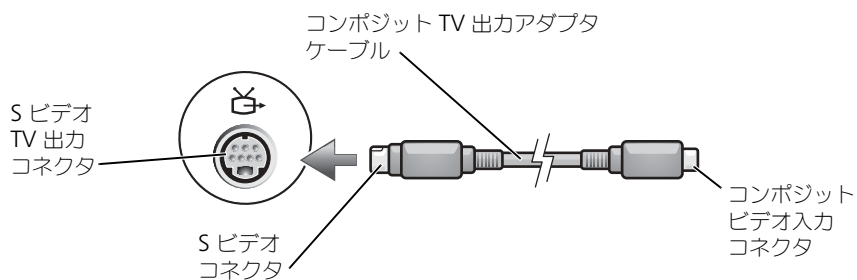
お使いのテレビには、S ビデオ入力コネクタまたはコンポジットビデオ入力コネクタのいずれかがあります。テレビで使用可能なコネクタのタイプによって、市販の S ビデオケーブルまたはコンポジットビデオケーブルを使用してコンピュータをテレビに接続できます。コンポジットビデオ入力コネクタしかないテレビの場合は、デル製のコンポジット TV 出力アダプタケーブルも使用する必要があります。

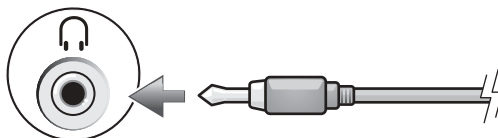
コンピュータの側面にあるオーディオコネクタは、市販のオーディオケーブルを使って、コンピュータをテレビまたはオーディオデバイスに接続することができます。

メモ： どの方法をお使いになるかを決める際の参考として、各サブセクションのはじめにある接続の組み合わせ図を参照してください。

コンピュータとテレビをビデオケーブルおよびオーディオケーブルで接続し終わったら、コンピュータでテレビが機能するようにコンピュータを有効にする必要があります。「テレビの表示設定を有効にする」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

S ビデオ接続

1. 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2. S ビデオケーブルの一端をコンピュータの S ビデオテレビ出力コネクタに差し込みます。

3 S ビデオケーブルのもう片方の端を、テレビの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。
4 コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。

5 もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。
6 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
7 「テレビの表示設定を有効にする」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

コンポジットビデオの接続

1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2 コンポジット TV 出力アダプタケーブルをコンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。

3 コンポジットビデオケーブルの片方の端を、コンポジット TV 出力アダプタケーブルのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。

4 コンポジットビデオケーブルのもう一方の端を、テレビのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。

5 コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。

6 もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

7 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

8 「テレビの表示設定を有効にする」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

テレビの表示設定を有効にする

コンピュータには、ATI ビデオコントローラカード、NVIDIA ビデオコントローラカード、または内蔵ビデオコントローラが付属している場合があります。以下の中から、お使いのコンピュータに取り付けられているビデオコントローラに対応したサブセクションを参照してください。

ATI ビデオコントローラカード

メモ： 表示設定を有効にする前に、テレビが適切に接続されているか確認します。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3 **コントロールパネルを選んで実行します** にある **画面** をクリックします。
4 **設定** タブをクリックし、**詳細設定** をクリックします。
5 **画面** タブをクリックします。
6 **TV** ボタンの左上の角をクリックして、テレビを有効にします。
7 **OK** をクリックします。

NVIDIA ビデオコントローラカード

メモ：表示設定を有効にする前に、テレビが適切に接続されているか確認します。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3 **コントロールパネルを選んで実行します** にある **画面** をクリックします。
4 **設定** タブをクリックし、**詳細設定** をクリックします。
5 **Nvidia GeForce** タブをクリックします。
6 メニューの左側から、**nView** をクリックします。
7 **クローン** をクリックして TV を有効にします。
8 **適用** をクリックします。
9 **OK** をクリックして、設定の変更を確定します。
10 **はい** をクリックし、新しい設定を保存します。
11 **OK** をクリックします。

6

家庭用および企業用ネットワークのセットアップ

ネットワークアダプタへの接続

コンピュータをネットワークに接続する前に、お使いのコンピュータにネットワークアダプタが取り付けられていること、およびネットワークケーブルが接続されていることが必要です。

ネットワークケーブルを接続するには ...

1 ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークアダプタコネクタに接続します。

メモ：ケーブルをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引いて、ケーブルの接続を確認します。

2 ネットワークケーブルのもう一方の端を、壁のネットワークジャックなどのネットワーク接続デバイスに接続します。

メモ：ネットワークケーブルを電話ジャックに接続しないでください。

ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP 家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **通信** とポイントして、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。
2 **ネットワークセットアップウィザードの開始** の画面で、**次へ** をクリックします。
3 **ネットワーク作成のチェックリスト** をクリックします。

メモ：インターネットに直接接続している という接続方法を選択すると、Windows XP に設置されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

4 チェックリストの項目を完了し、必要な準備を行います。
5 ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面に表示される指示に従います。

ネットワークの問題

ネットワークケーブルのコネクタを確認します — ネットワークケーブルのコネクタがコンピュータにあるオプションのコネクタと、壁のネットワークジャックにしっかりと接続されているか確認します。

ネットワークコネクタのネットワークインジケータを確認します — 緑色に点灯している場合は、ネットワークの接続に問題はありません。緑色に点灯していない場合は、ネットワークケーブルを取り替えてみます。橙色に点灯している場合、オプションのネットワークアダプタドライバが起動して、アダプタが検出されています。

コンピュータを再起動します — もう一度、ネットワークにログインしなおしてみます。

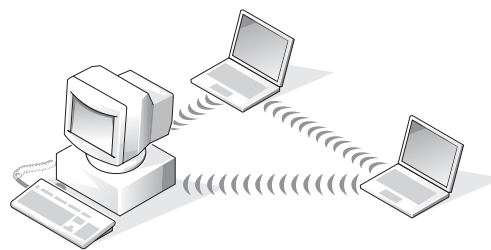
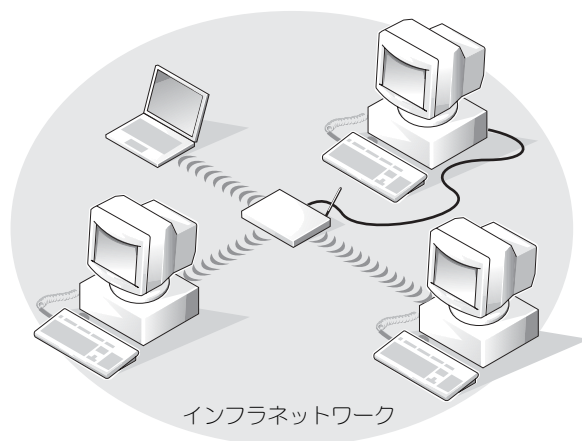
ネットワーク管理者に連絡します — ネットワークへの接続設定が正しいか、またネットワークが正常に機能しているかどうかネットワーク管理者に確認します。

無線 LAN への接続

メモ : このようなネットワーキング手順は、Bluetooth™ や携帯電話製品には適用されません。

ネットワークタイプの判断

メモ : ほとんどのワイヤレスネットワークは、インフラタイプです。

ワイヤレスネットワークは、インフラネットワークとアドホックネットワークという 2 つのカテゴリに分類できます。インフラネットワークは、ルーターまたはアクセスポイントを使用して、複数のコンピュータを接続します。アドホックネットワークは、ルーターやアクセスポイントを使用せず、相互にブロードキャストするコンピュータで構成されています。

Microsoft® Windows® XP でのワイヤレスネットワークへの接続

ワイヤレスネットワークカードには、ネットワークに接続するための専用のソフトウェアとドライバが必要です。ソフトウェアはすでにインストールされています。ソフトウェアが削除されているか破損している場合は、ワイヤレスネットワークカードのユーザーズガイドにある手順に従ってください。このユーザーズガイドは、『Drivers and Utilities CD』（コンピュータに同梱）の「User's Guides-Network ユーザーズガイド」カテゴリにあります。ユーザーズガイドは、デルサポートサイト（**support.jp.dell.com**）からも入手できます。

1. **スタート** ボタンをクリックして **コントロールパネル** をクリックし、**クラシック表示に切り替える** をクリックします。
2. **ネットワーク接続** をダブルクリックします。
3. **ワイヤレスネットワーク接続** をクリックします。

   ワイヤレスネットワーク接続 アイコンがハイライトされます。
4. 左側のペイン内の **ネットワークタスク** の下で、**この接続の設定を変更する** をクリックします。

   ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ ウィンドウが表示されます。
5. **ワイヤレスネットワーク** タブをクリックします。

メモ : コンピュータが検知できるワイヤレスネットワークの名前が、**利用できるネットワーク** にリストされます。

6 **追加** をクリックします。

ワイヤレスネットワークのプロパティ ウィンドウが表示されます。

メモ：WPA で保護されたネットワークを使用しているのに、**アソシエーション** タブに WPA を選択するオプションが表示されない場合は、WPA ワイヤレスセキュリティアップデートを Microsoft のサポートサイトからダウンロードします。

7 ネットワークの名前を **ネットワーク名（SSID）**フィールドに入力します。

8 セキュリティ設定を行う必要がない場合は、手順 9 に進みます。

セキュリティ設定を行うよう選択した場合は（オプション）、58 ページの「セキュリティ設定（オプション）」に進みます。

9 **OK** をクリックします。

新しいネットワーク名が **優先するネットワーク** フィールドに表示され、ネットワークセットアップが完了します。

セキュリティ設定（オプション）

ネットワークのセキュリティ設定に基づいて、次の接続オプションから 1 つを選択します。

- WEP（Wired Equivalent Protocol）セキュリティ要件を持つネットワークに接続する
- WPA（Wi-Fi Protected Access）セキュリティ要件を持つネットワークに接続する

メモ：ネットワークセキュリティ設定は、ご利用のネットワーク固有のものです。デルではこの情報をお知らせすることはできません。

WEP（Wired Equivalent Protocol）セキュリティ要件を持つネットワークに接続する

1 **優先するネットワーク** フィールドで、ワイヤレスネットワークの名前をクリックします。

2 **プロパティ** をクリックします。

3 **ネットワーク認証** ドロップダウンメニューから、**開いています** を選択します。

Dell ワイヤレスネットワークソフトウェアの旧バージョンでは、ドロップダウンメニューが用意されていないものもあります。旧バージョンをご使用の場合は、**データの暗号化（WEP 有効）**チェックボックスをクリックしてチェックを付け、手順 5 に進んでください。

4 **データの暗号化** ドロップダウンメニューから、**WEP** を選択します。

5 ワイヤレスネットワークでネットワークキー（パスワードなど）が不要な場合は、手順 9 に進んでください。

6 **キーは自動的に提供される** というラベルの付いたチェックボックスをクリックしてチェックを外します。

7 WEP ネットワークキーを **ネットワークキー** フィールドに入力します。

8 WEP ネットワークキーを再度 **ネットワークキーの確認** フィールドに入力します。

9 **OK** をクリックします。

メモ：コンピュータがネットワークに接続するのに 1 分ほどかかる場合があります。

ネットワークのセットアップが完了しました。

WPA（Wi-Fi Protected Access）セキュリティ要件を持つネットワークに接続する

次の手順は、WPA ネットワークに接続するための基本的な手順です。ネットワークでユーザー名、パスワード、またはドメインの設定が必要な場合は、ワイヤレスネットワークカードの『ユーザーズガイド』に記載されているセットアップ手順を参照してください。

メモ：WPA プロトコルでは、自分のワイヤレスネットワークのネットワーク認証設定およびデータ暗号化設定を把握しておく必要があります。また、WPA 保護ネットワークでは、ネットワークキー、ユーザー名、パスワード、およびドメイン名などの特別な設定が必要な場合があります。

1 **優先するネットワーク** フィールドで、ワイヤレスネットワークの名前をクリックします。
2 **プロパティ** をクリックします。
3 **ネットワーク認証** ドロップダウンメニューから、ネットワーク認証タイプを選択します。

   WPA で保護されたネットワークを使用しているのに、**アソシエーション** タブに WPA を選択するオプションが表示されない場合は、WPA ワイヤレスセキュリティアップデートを Microsoft のサポートサイトからダウンロードします。

4 **データの暗号化** ドロップダウンメニューから、データ暗号化タイプを選択します。
5 キーが必要なワイヤレスネットワークの場合は、**キーは自動的に提供される** チェックボックスをクリックして、チェックを外します。
6 WPA ネットワークキーを **ネットワークキー** フィールドに入力します。
7 WPA ネットワークキーを再度 **ネットワークキーの確認入力** に入力します。
8 **OK** をクリックします。

メモ：コンピュータがネットワークに接続するのに 1 分ほどかかる場合があります。

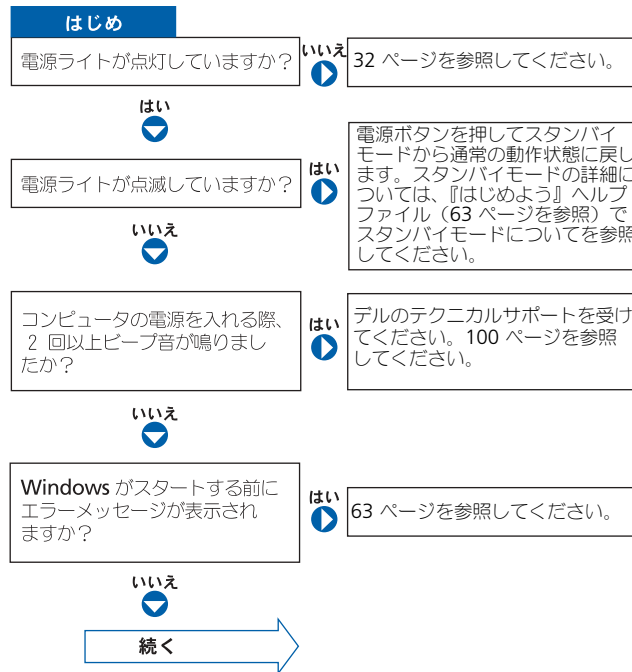
ネットワークのセットアップが完了しました。

7

問題の解決

解決方法の検索

問題が起きたとき、解決方法を見つけるのが困難な場合があります。そのような場合は、下の図を使用して、解決方法を説明しているページを参照してください。

メモ：外付けデバイスに問題がある場合は、デバイスのマニュアルを参照するか、そのデバイスの製造元にお問い合わせください。

右のいずれかに
問題がありますか。
いいえ
ビデオまたはディスプレイ
はい
64 ページを参照してください。
サウンドまたはスピーカー
はい
43 ページを参照してください。
プリンタ
はい
26 ページを参照してください。
モデム
はい
23 ページを参照してください。
スキャナ
はい
66 ページを参照してください。
タッチパッド
はい
45 ページを参照してください。
外付けのキーボード
はい
45 ページを参照してください。
入力時の問題
はい
46 ページを参照してください。
ハードドライブまたは
ディスクドライブ
はい
66 ページを参照してください。
ネットワークアダプタ
はい
56 ページを参照してください。
Windows エラーメッセージ
はい
63 ページを参照してください。
プログラム
はい
68 ページを参照してください。
インターネット
はい
23 ページを参照してください。
E-メール
はい
69 ページを参照してください。
それ以外の問題がありますか
はい
71 ページを参照してください。

ヘルプのアクセス

『はじめよう』ヘルプファイルにアクセスするには —

1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2 **ユーザーズガイドおよびシステムガイド** をクリックして、**ユーザーズガイド** をクリックします。
3『**はじめよう**』ヘルプファイルをクリックします。

ヘルプにアクセスするには —

1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2 問題に関連する用語や文節をボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。
3 問題に関連するトピックをクリックします。
4 画面で示されている手順に従います。

エラーメッセージ

メッセージが一覧にない場合は、オペレーティングシステムのマニュアル、またはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

コピーするファイルが大きすぎて受け側のドライブに入りません — 指定のディスクにコピーするにはファイルサイズが大きすぎます。またはディスクがいっぱいで入りません。他のディスクにコピーするか容量の大きなディスクを使用します。

ファイル名には次の文字は使用できません：¥ / : * ? “ < > | — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

起動用メディアを挿入します — オペレーティングシステムが起動ディスク用以外のフロッピーディスクまたは CD で起動しようとしています。起動フロッピーディスクまたは CD を挿入します。

非システムディスクまたはディスクエラーです — フロッピードライブにフロッピーディスクが挿入されています。フロッピーディスクを取り出して、コンピュータを再起動します。

メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やり直します — 開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません — デルにお問い合わせください（100 ページを参照）。

必要な .DLL ファイルが見つかりません — 実行しようとしているプログラムに必要なファイルがありません。プログラムを削除してから、再インストールします。

1. **スタート** ボタンをクリックします。
2. **コントロールパネル** をクリックします。
3. **プログラムの追加と削除** をクリックします。
4. 削除したいプログラムを選択します。
5. **削除** ボタンまたは **変更と削除** ボタンをクリックし、画面の指示メッセージに従います。
6. インストール手順については、プログラムに付属されているマニュアルを参照してください。

x:\ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません — ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。

ビデオとディスプレイの問題

画面に何も表示されない場合

メモ：お使いのコンピュータに対応する解像度よりも高い解像度を必要とするプログラムをご使用の場合は、外付けモニターをコンピュータに取り付けることをお勧めします。

ライトを確認します — のライトが点滅している場合は、コンピュータに電源が入っています。

- のライトが点滅している場合は、コンピュータがスタンバイモードに入っています。電源ボタンを押してスタンバイモードを終了します。
- のライトが消灯している場合は、電源ボタンを押します。
- のライトが点灯している場合は、電源管理の設定により画面の電源が切れている可能性があります。
  任意のキーを押してみるか、またはカーソルを移動してスタンバイモードを終了します。

バッテリーを確認します — コンピュータをバッテリーで動作している場合は、充電されたバッテリーの残量が消耗されています。AC アダプタを使ってコンピュータをコンセントに接続して、コンピュータの電源を入れます。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合は、ライトが点灯していることを確認します。

コンピュータを直接コンセントへ接続します — お使いの電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。ヘルプファイルにアクセスするには、63 ページを参照してください。

電源のプロパティを調整します — ヘルプファイルとサポートセンターで「スタンバイ」というキーワードを検索します。ヘルプファイルのアクセス方法については、63 ページを参照してください。

画面モードを切り替えます — コンピュータが外付けモニターに接続されている場合、Fn F8 CRT/LCD を押して画面モードをディスプレイに切り換えます。

画面が見づらい場合

輝度を調節します — 輝度の調節の手順については、『はじめよう』ヘルプファイル を参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、63 ページを参照してください。

サブウーハーをコンピュータまたはモニターから離します — 外付けスピーカーにサブウーハーが備わっている場合は、サブウーハーをコンピュータまたは外付けモニターから 60 センチ以上離します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

コンピュータの向きを変えます — 画質低下の原因となる日光の反射を避けます。

WINDOWS のディスプレイ設定を調節します —

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3 変更したいエリアをクリックするか、**画面** アイコンをクリックします。
4 **画面の解像度** と **画面の色** で、別の設定にしてみます。

「エラーメッセージ」を参照してください — エラーメッセージが表示される場合、63 ページを参照してください。

画面の一部しか表示されない場合

外付けモニターを接続します —

1 コンピュータの電源を切り、外付けモニターをコンピュータに接続します。
2 コンピュータおよびモニターの電源を入れ、モニターの輝度およびコントラストを調整します。

外付けモニターが動作する場合は、コンピュータのディスプレイが不良の可能性があります。デルにお問い合わせください（100 ページを参照）。

スキャナの問題

電源ケーブル接続を確認します — スキャナーの電源ケーブルがコンセントにしっかりと接続され、スキャナーの電源が入っていることを確認します。

スキャナーケーブル接続を確認します — スキャナーケーブルがコンピュータとスキャナーにしっかりと接続されていることを確認します。

スキャナーのロックを解除します — スキャナーに固定タブやボタンがある場合は、ロックが解除されていることを確認します。

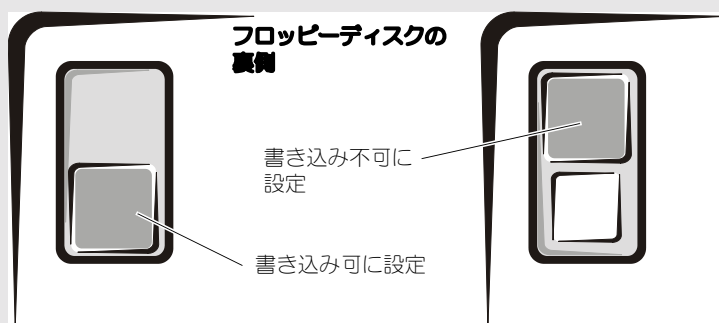
スキャナードライバを再インストールします — 手順については、スキャナーに付属しているマニュアルを参照してください。

ドライブの問題

メモ：フロッピーディスクへのファイルの保存に関する情報については、『はじめよう』ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、63 ページを参照してください。

フロッピードライブにファイルを保存できない場合

WINDOWS® がドライブを認識しているかどうか確認します — **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。ドライブが表示されない場合は、アンチウイルスソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスの除去を行います。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。起動ディスクを挿入してコンピュータを再起動します。 ライトが点滅して、通常の動作を示しているかどうかを確認します。

ディスクが書き込み禁止になっていないことを確認します — 書き込み禁止になっているディスクにデータを保存することはできません。次の図を参照してください。

別のフロッピーディスクを使用します — 元のディスクに問題のないことを確認するために、別のディスクを入れます。

ドライブを再び取り付けます —

1 開いているファイルを保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
2 ドライブをモジュールベイから取り外します。手順については、34 ページを参照してください。
3 ドライブを再度取り付けます。
4 コンピュータの電源を入れます。

ドライブをクリーニングします — クリーニングの手順については、『はじめよう』ヘルプファイルの「コンピュータをクリーニングする」を参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、63 ページを参照してください。

ハードドライブに問題がある場合

コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます — ハードドライブが高温になっているため、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます。

ドライブのエラーを確認します —

1 **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。
2 エラーが残っているかどうか調べるドライブのドライブ文字（ローカルディスク）を右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
3 **ツール** タブをクリックします。
4 **エラーチェック** で、**チェックする** をクリックします。
5 **開始** をクリックします。

PC カードの問題

PC カードを確認します — PC カードが正しくコネクタに挿入されているか確認します。

WINDOWS® でカードが検出されているかどうか確認します — Windows のタスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。カードが一覧表示されていることを確認します。

デルから購入した PC カードに問題がある場合 — デルにお問い合わせください（100 ページを参照）。

デル以外から購入した PC カードに問題がある場合 — PC カードの製造元にお問い合わせください。

全般的なプログラムの問題

プログラムが壊れた場合

メモ : 通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

プログラムに付属のマニュアルを参照します — 多くのソフトウェアメーカーは、問題の解決方法をウェブサイトに掲載しています。プログラムが正しくインストールおよび設定されていることを確認します。必要に応じて、プログラムを再インストールします。

プログラムが応答しなくなった場合

プログラムを終了します —

1 Ctrl Shift Esc Suspend を同時に押します。
2 **アプリケーション** タブをクリックして、反応がなくなったプログラムを選択します。
3 **タスクの終了** をクリックします。

エラーメッセージが表示される場合

「エラーメッセージ」を見なおします — メッセージを調べて、適切な処置を行います。ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

E- メールの問題

インターネットへの接続を確認します — E- メールプログラム Outlook Express を起動し、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** にチェックマークが付いている場合は、チェックマークをクリックしてチェックを外してからインターネットに接続します。

コンピュータが濡れてしまった場合

警告：この手順は、必ず安全であることを確認した上で実行してください。コンピュータがコンセントに接続されている場合は、回路ブレーカーで AC 電源をオフにしてから、電源ケーブルを抜くことをお勧めします。濡れたケーブルを通電しているコンセントから抜くときは細心の注意を払ってください。

1 コンピュータをシャットダウンします（28 ページを参照）。コンピュータから AC アダプタを抜き、電源コンセントから AC アダプタを外します。
2 コンピュータに接続されている外付けデバイスの電源を切り、各外付けデバイスの電源ケーブルを外した上で、コンピュータから取り外します。
3 コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。
4 モジュールベイデバイスを取り外し、取り付けられているすべての PC カードを取り外して、安全な場所に置いて乾燥させます。
5 バッテリーを取り外します。
6 バッテリーを拭いてから、安全な場所に置いて乾燥させます。
7 ハードドライブを取り外します（89 ページを参照）。
8 メモリモジュールを取り外します（79 ページを参照）。
9 ディスプレイを開き、コンピュータの右側を上にした状態で 2 冊の本や、それに代わる支えになる物の上に置いて、コンピュータ周辺環境を循環させます。室温で乾燥した場所にコンピュータを置き、24 時間以上乾燥させます。

注意：乾燥時間を短くするため、ヘアードライヤーまたはファンなどの人工的な手段は用いないでください。

警告：感電を防ぐため、コンピュータが完全に乾いていることを確認してから、次の手順に進んでください。

10 コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。

11 メモリモジュール、メモリモジュールカバー、およびネジを取り付けます。

12 ハードドライブを取り付けます。

13 取り外したモジュールベイデバイスおよび PC カードを取り付けます。

14 バッテリーを取り付けます。

15 コンピュータの電源を入れて、コンピュータが正しく動作しているかどうか確認します。

コンピュータが起動しない場合や、どのコンポーネントが損傷を受けたのかわからない場合は、デルにお問い合わせください（100 ページを参照）。

コンピュータを落下または損傷させた場合

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします（28 ページを参照）。

2 コンピュータおよびコンセントから AC アダプタを外します。

3 コンピュータに接続されている外付けデバイスの電源を切り、各外付けデバイスの電源ケーブルを外した上で、コンピュータから取り外します。

4 バッテリーを取り外して、再度取り付けます。

5 コンピュータの電源を入れます。

コンピュータが起動しない場合や、どのコンポーネントが損傷を受けたのかわからない場合は、デルにお問い合わせください（100 ページを参照）。

その他の技術的な問題の解決

デルサポートウェブサイトへアクセスします — 一般的な使用方法、インストールおよびトラブルシューティングに関するご質問については **support.jp.dell.com** にアクセスします。Dell でサポートするハードウェアおよびソフトウェアの説明については、『サービス＆サポートのご案内』を参照してください。

E- メールサポート — **support.jp.dell.com** にアクセスし、**テクニカルサポートへのお問い合わせ** 欄にある **E- メールサポート** をクリックします。画面左下に E- メールサポートのリンクが表示され、そこから技術的な質問や問い合わせを送信できます。デルでサポートするハードウェアおよびソフトウェアの説明については、『サービス＆サポートのご案内』を参照してください。

デルにお問い合わせください — Dell™ サポートサイトで問題が解決しない場合は、デルのテクニカルサポートにお電話でお問い合わせください（100 ページを参照）。デルでサポートするハードウェアおよびソフトウェアの説明については、『サービス＆サポートのご案内』を参照してください。

ドライバ

ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにはドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目を果たします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いの Dell コンピュータには、出荷時に必要なドライバおよびユーティリティがすでにインストールされていますので、新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。

注意：『Drivers and Utilities CD』は、お使いのコンピュータに搭載されていないオペレーティングシステムのドライバも含まれている場合があります。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに適切なものであることを確認してください。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。次の場合に、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ドライバの識別

デバイスに問題が発生した場合、次の手順を実行して問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3 **システム** をクリックします。
4 **システムのプロパティ** ウィンドウの **ハードウェア** タブをクリックします。
5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
6 一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符（[!] の付いた黄色い丸）が付いているものがないか確認します。

   デバイス名の横に感嘆符がある場合は、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要になる場合があります。

ドライバと ユーティリティの再インストール

注意： デルサポートウェブサイト **support.jp.dell.com** および『Drivers and Utilities CD』では、Dell™ コンピュータに適切なドライバを提供しています。その他の媒体からのドライバをインストールした場合は、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

Windows XP デバイス ドライバのロールバック

新たにドライバをインストールまたはアップデートしたためにシステムが不安定になった場合は、Windows XP のデバイスドライバのロールバックにより、以前にインストールしたバージョンのデバイスドライバに置き換えることができます。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3 **システム** をクリックします。
4 **システムのプロパティ** ウィンドウの **ハードウェア** タブをクリックします。
5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
6 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックしてから、**プロパティ** をクリックします。
7 **ドライバ** タブをクリックします。
8 **ドライバのロールバック** をクリックします。

デバイスドライバのロールバックで問題が解決しない場合、「システムの復元（74 ページの「システムの復元の使い方」を参照）」を使用して、オペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻してみます。

『Drivers and Utilities CD』の使い方

デバイスドライバのロールバックまたは システム復元（74 ページの「システムの復元の使い方」を参照）で問題を解決できない場合、『Drivers and Utilities CD』からドライバを再インストールします。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。

  ほとんどの場合は、CD は自動的に実行されます。実行されない場合 、Windows エクスプローラを起動し、CD ドライブのディレクトリをクリックして CD の内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。CD を初めて使用する場合は、セットアップファイルをインストールするよう表示されることがあります。**OK** をクリックして、画面の指示に従って続行します。

3 ツールバーの **言語** ドロップダウンメニューから、ドライバまたはユーティリティに適切な言語（利用可能な場合）をクリックします。「Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます」画面が表示されます。
4 **次へ** をクリックします。

  CD が自動的にハードウェアをスキャンし、コンピュータで使用されているドライバとユーティリティを検出します。

5 CD がハードウェアのスキャンを終了したら、他のドライバやユーティリティも検出できます。**検索基準** で、**システムモデル**、**オペレーティングシステム** および **トピック** のドロップダウンメニューから適切なカテゴリを選びます。

  コンピュータで使用される特定のドライバとユーティリティのリンクが表示されます。

6 特定のドライバまたはユーティリティのリンクをクリックして、インストールするドライバまたはユーティリティについての情報を表示します。
7 **インストール** ボタン（表示されている場合）をクリックして、ドライバまたはユーティリティのインストールを開始します。画面の指示に従ってインストールを完了します。

  インストール ボタンが表示されない場合は、自動インストールを選択できません。インストール手順については、該当する以下の手順を参照するか、または **解凍** をクリックして展開手順に従い、readme ファイルを参照してください。

  ドライバファイルへ移動するよう指示された場合は、ドライバ情報ウィンドウで CD のディレクトリをクリックして、そのドライバに関連するファイルを表示します。

Windows XP 用のドライバの手動再インストール

1 前のセクションで述べたように、お使いのハードドライブにドライバファイルを解凍したら、**スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** を右クリックします。
2 **プロパティ** をクリックします。
3 **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
4 ドライバをインストールするデバイスのタイプをダブルクリックします（たとえば、**モデム**）。
5 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
6 **ドライバ** タブをクリックして、**ドライバの更新** をクリックします。
7 一覧または **特定の場所からインストールする（詳細）** をクリックして、**次へ** をクリックします。
8 **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルを解凍していた場所を参照します。
9 適切なドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。

10 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

システムの復元の使い方

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムは、システムの復元を提供しています。システムの復元を使って、ハードウェア、ソフトウェア、または他のシステム設定への変更が原因でコンピュータの動作に不具合が生じた場合は、（データファイルに影響を与えずに）以前の動作状態に戻すことができます。システムの復元の使い方については、Windows のヘルプを参照してください。

注意 : データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルを監視したり、データファイルを復元したりできません。

復元ポイントの作成

1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2 **システムの復元** をクリックします。
3 画面に表示される指示に従ってください。

コンピュータを以前の動作状態に復元する

注意 : お使いのコンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、開いているプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
2 **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。
3 コンピュータを復元したいカレンダーの日付をクリックします。

   復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントが選べるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。

4 復元ポイントを選択して、**次へ** をクリックします。

   カレンダーに復元ポイントが 1 つしか表示されない場合は、その復元ポイントが自動的に選択されます。2 つ以上の復元ポイントが利用可能な場合は、希望の復元ポイントをクリックします。

5 **次へ** をクリックします。

   システムの復元がデータの収集を完了したら、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。

6 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

   復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使用してこの手順を繰り返すか、復元を元に戻します。

最後のシステムの復元を元に戻す

注意 : 最後に行ったシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。

2 **以前の復元を取り消す** を選択して、**次へ** をクリックします。
3 **次へ** をクリックします。
システムの復元 画面が表示され、コンピュータが再起動します。
4 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

システムの復元の有効化

200 MB しか空容量のないハードディスクに Windows XP を再インストールした場合は、システムの復元は自動的に無効に設定されています。システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3 **システム** をクリックします。
4 **システムの復元** タブをクリックします。
5 **システムの復元を無効にする** にチェックマークが付いていないことを確認します。

Microsoft® Windows® XP の再インストール

再インストールする前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールする場合、Windows XP のドライバのロールバックを試してみます（72 ページを参照）。デバイスドライバのロールバックで問題が解決しない場合、システムの復元（75 ページを参照）を使用して、新しいデバイスドライバをインストールする前の稼動状態にオペレーティングシステムを戻します。

Windows XP の再インストール

Windows XP を再インストールするには、次項にあるすべての手順を記載されている順番に実行します。

再インストール処理を完了するには、1 ～ 2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、ウイルス保護プログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

注意 :『オペレーティングシステム CD』は、Windows XP の再インストールのオプションを提供します。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP は再インストールしないでください。

注意 : Windows XP とのコンフリクトを防ぐため、システムにインストールされているアンチウイルスソフトウェアを無効にしてから Windows XP を再インストールしてください。手順については、ソフトウェアに付属されているマニュアルを参照してください。

『オペレーティングシステム CD』からの起動

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。自動的にプログラムが起動する場合、次の手順に進む前にプログラムを終了します。
3 **スタート** メニュー（28 ページを参照）からコンピュータをシャットダウンして、コンピュータを再起動します。

4 DELL™ ロゴが表示されたらすぐに F12 を押します。

オペレーティングシステムのロゴが表示された場合は、Windows のデスクトップが表示されるのを待ってから、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

5 矢印キーを使って **CD-ROM** を選択し、Enter を押します。

6 `Press any key to boot from CD` というメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。

Windows XP のセットアップ

1 **セットアップの開始** 画面が表示されたら、Enter を押します。

2 **Microsoft Windows ライセンス契約** 画面の内容を読み、キーボードの F8 CRT/LCD を押して、ライセンス契約に同意します。

3 お使いのコンピュータにすでに Windows XP がインストールされていて、現在の Windows XP データを復元したい場合は、`r` と入力して修復オプションを選び、ドライブから CD を取り出します。

4 新たに Windows XP をインストールする場合、Esc Suspend を押して新しい Windows XP をインストールするオプションを選択します。

5 Enter を押して、ハイライトされたパーティションを選び（推奨）、画面の指示に従います。

メモ：ハードドライブの容量やコンピュータの速度によって、セットアップに要する時間は異なります。

Windows XP セットアップ 画面が表示され、Windows XP は、ファイルのコピーおよびデバイスのインストールを開始します。コンピュータは自動的に再起動します。

注意：次のメッセージが表示される場合、キーは押さないでください。`Press any key to boot from the CD`

6 **地域と言語のオプション** 画面が表示されたら、地域の設定を必要に応じてカスタマイズし、**次へ** をクリックします。

7 **ソフトウェアの個人用設定** 画面で、名前と会社名（オプション）を入力して、**次へ** をクリックします。

8 Windows XP Home Edition を再インストールする場合は、**コンピュータ名はなんですか？** ウィンドウが表示されたらコンピュータ名を入力（または表示の名前を承認）し、**次へ** をクリックします。

Windows XP Professional を再インストールする場合は、**コンピュータと Administrator** ウィンドウが表示されたらコンピュータ名およびパスワードを入力（または表示の名前を承認）し、**次へ** をクリックします。

9 **モデム情報** 画面が表示される場合、必要な情報を入力して **次へ** をクリックします。

10 **日付と時刻の設定** ウィンドウに日付、時刻を入力し、**次へ** をクリックします。

11 **ネットワークの設定** 画面が表示されたら、**標準設定** をクリックして、**次へ** をクリックします。

12 Windows XP Professional の再インストール中に、ネットワーク設定についてより詳しい情報を求められたら、該当する項目を入力します。設定がわからない場合は、デフォルトの選択肢を選んでください。

Windows XP は、オペレーティングシステムのコンポーネントをインストールし、コンピュータを設定します。コンピュータが自動的に再起動されます。

注意：次のメッセージが表示される場合、キーは押さないでください。`Press any key to boot from the CD.`

13 **Microsoft Windows へようこそ** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
14 **インターネットに接続する方法を指定してください** というメッセージが表示されたら、**省略** をクリックします。
15 **Microsoft にユーザー登録する準備は出来ましたか？** 画面が表示されたら、**いいえ、今回はユーザー登録しません** を選択し、**次へ** をクリックします。
16 **このコンピュータを使うユーザーを指定してください** 画面が表示されたら、最大 5 人のユーザーを入力できます。**次へ** をクリックします。
17 **完了** をクリックしてセットアップを完了し、ドライブから CD を取り出します。

ドライバおよびソフトウェアの再インストール

1 適切なドライバを再インストールします（72 ページを参照）。
2 アンチウイルスソフトウェアを再インストールします。手順については、ソフトウェアに付属されているマニュアルを参照してください。
3 その他のソフトウェアプログラムを再インストールします。手順については、ソフトウェアに付属しているマニュアルを参照してください。

8

部品の拡張および交換

本項に書かれている手順には、細めのプラスドライバが必要です。

メモリの増設

システム基板にメモリモジュールを取り付けると、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリの情報については、91 ページを参照してください。必ずお使いのコンピュータ用のメモリモジュールのみを取り付けてください。

メモ : デルから購入されたメモリモジュールは、お使いのコンピュータの保証範囲に含まれます。

警告 : コンピュータ内部の作業を始める前に、『製品情報ガイド』の安全に関する指示に従ってください。

1 コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。
2 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします（28 ページを参照）。
3 コンピュータをドッキングデバイスに接続している場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
4 コンピュータをコンセントから外します。
5 10 ～ 20 秒待ってから、接続されているすべてのデバイスを取り外します。
6 取り付けられている PC カード、バッテリー、およびモジュールベイのデバイスをすべて取り外します。

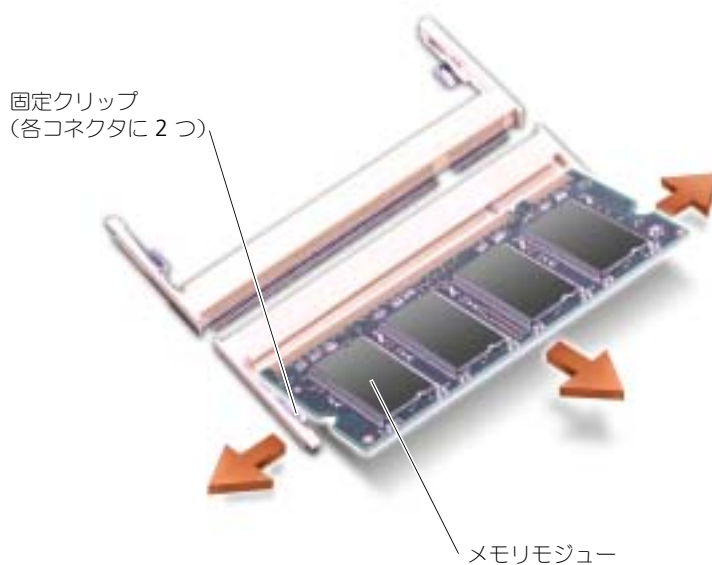
注意 : コンポーネントおよびカードはその端を持ち、ピンや接点には触れないでください。コンピュータ背面の金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を除去してください。

7 コンピュータを裏返し、メモリモジュールカバーから固定ネジを緩めて、カバーを取り外します。

注意 : メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの固定クリップを広げるためにツールを使用しないでください。

8 メモリモジュールを取り付けなおすには、現在あるモジュールを取り外さなければなりません。

a メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップをモジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。

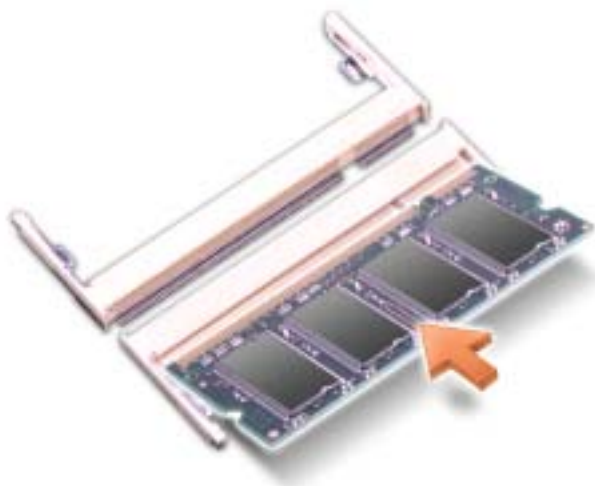
b モジュールをコネクタから取り外します。

注意 : メモリモジュールを 2 つのコネクタに取り付ける必要がある場合、メモリモジュールは、まず「DIMMA」のラベルの付いているコネクタに取り付け、次に「DIMMB」のラベルの付いているコネクタに取り付けます。コネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールは 45 度の角度で差し込んでください。

9 身体の静電気を除去してから、新しいメモリモジュールを取り付けます。

メモ：メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合は、コンピュータは正常に起動しません。この場合は、エラーメッセージは表示されません。

a モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットのタブに合わせます。

注意：モジュールは切り込みのある短い方の端だけを持つようにしてください。外側の長い方のエッジを押さないでください。

b モジュールの切り込みのある短い方の端を持ち、モジュールのエッジをコネクタにしっかり差し込み、カチッというまでモジュールを回し下げます。カチッという感触が得られない場合は、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。

10 カバーを取り付けます。

注意 : カバーが閉めにくい場合、モジュールを取り外して、もう一度取り付けます。無理にカバーを閉じると、コンピュータを破損する恐れがあります。

11 バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。

12 コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム構成情報を自動的に更新します。

コンピュータに取り付けられたメモリ容量を確認するには、**スタート** ボタンをクリックし、**ヘルプとサポート** をクリックして、**コンピュータの情報** をクリックします。

ミニ PCI カードの取り付け

警告 : FCC 規則では、ユーザーが 5 GHz（802.11a, 802.11a/b, 802.11a/b/g）ワイヤレス LAN ミニ PCI カードを取り付けることを厳しく禁止しています。いかなる状態でも、ユーザーはこのようなデバイスを取り付けないようにしてください。訓練を受けたデルサービス担当員のみが、5 GHz 帯ワイヤレス LAN ミニ PCI カードの取り付けを承認されています。

2.4 GHz（802.11b, 802.11b/g）ミニ PCI カードの取り付けや取り外しを行う場合は、下記の手順に従ってください。ノートブックコンピュータでの使用を承認された製品のみをインストールできます。承認されたミニ PCI カードはデルでもご購入いただけます。

メモ : 2.4 GHz ワイヤレス LAN PC カードは、ユーザーによって取り外し、取り付けが可能です。

警告 : コンピュータ内部の作業を始める前に、『製品情報ガイド』の安全に関する指示に従ってください。

お使いのコンピュータで使用するミニ PCI カードを注文された場合は、カードはすでに取り付けられています。

1 コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。

2 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします（28 ページを参照）。

3 コンピュータをドッキングデバイスに接続している場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

4 コンピュータをコンセントから外します。

5 10 ～ 20 秒待ってから、接続されているすべてのデバイスを取り外します。

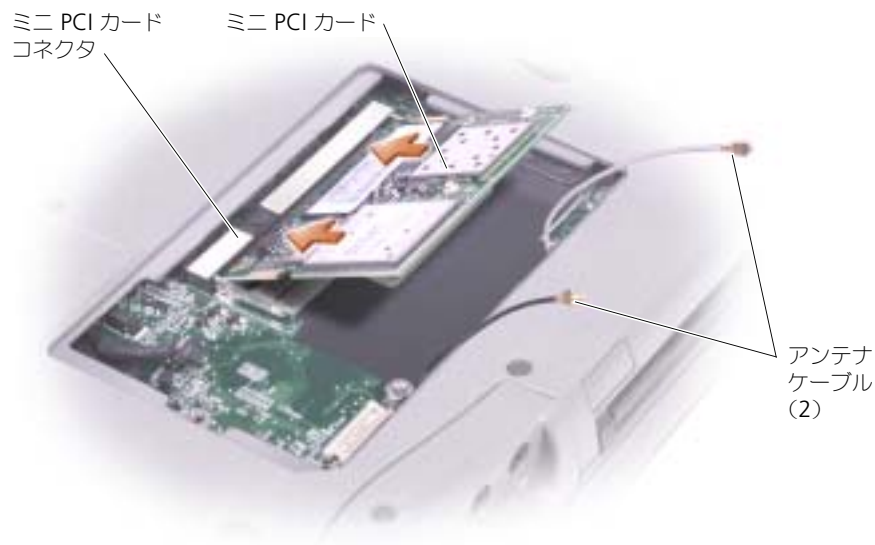
6 取り付けられている PC カード、バッテリー、およびモジュールベイのデバイスをすべて取り外します。

注意 : コンポーネントおよびカードはその端を持ち、ピンや接点には触れないでください。コンピュータ背面の金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を除去してください。

7 コンピュータを裏返します。

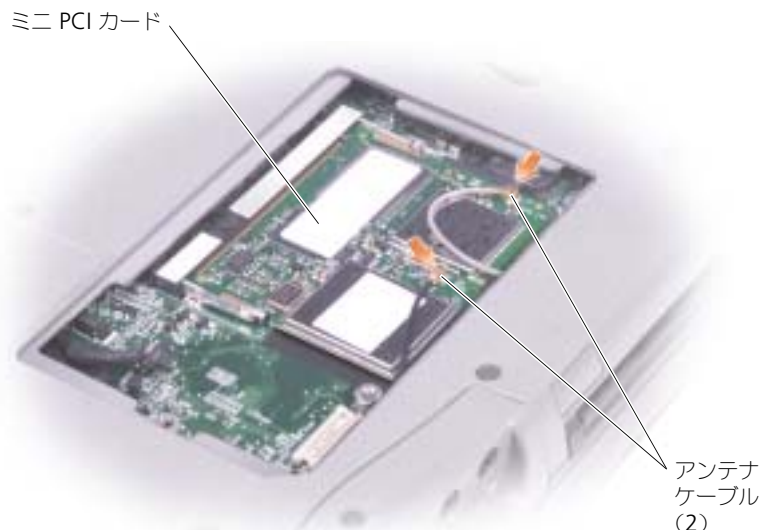
8 ミニ PCI カード / モデムカバーの拘束ネジを緩めてカバーを取り外します。

9 ミニ PCI カードがまだ取り付けられていない場合は、手順 10 に進みます。ミニ PCI カードを交換する場合は、既存のカードを取り外します。

  a ミニ PCI カードを、取り付けられているすべてのケーブルから取り外します。
  b ミニ PCI カードを取り外すには、カードがわずかに浮き上がるまで金属製の固定タブを広げます。
  c ミニ PCI カードをコネクタから持ち上げます。

注意 : ミニ PCI カードの損傷を避けるため、カードの上や下に決してケーブルを置かないでください。

注意 : コネクタは、正しく取り付けられるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、コネクタを確認しカードを再調整してください。

10 ミニ PCI カードをコネクタに対して 45 度の角度に合わせ、カチッという感触が得られるまでミニ PCI カードをコネクタのほうに押し込みます。

11 アンテナケーブルをミニ PCI カードに取り付けます。

12 カバーを元の位置に戻してネジを締めます。

モデムの交換

コンピュータの注文時にオプションのモデムも注文された場合は、出荷時にモデムが取り付けられています。

警告 : コンピュータ内部の作業を始める前に、『製品情報ガイド』の安全に関する指示をお読みください。

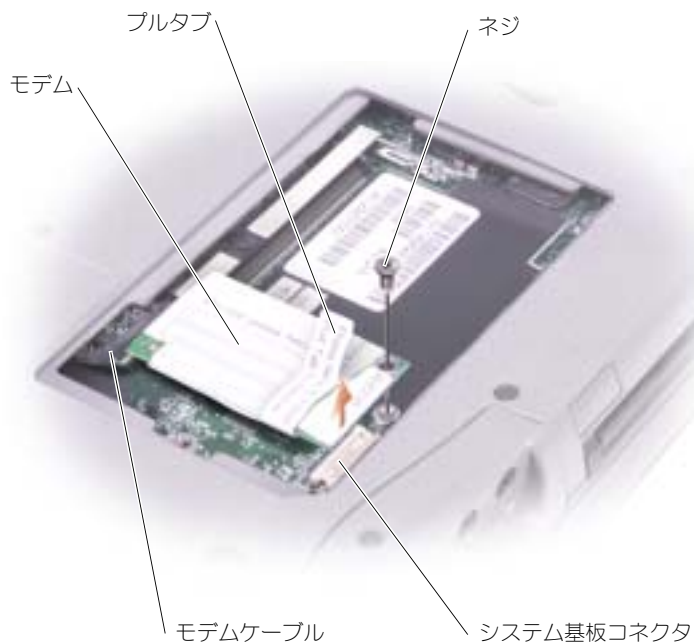
注意 : コンポーネントおよびカードはその端を持ち、ピンや接点には触れないでください。

1. コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。
2. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。コンピュータをシャットダウンします（28 ページを参照）。
3. コンピュータがドッキングされている場合、ドッキングを解除します。
4. コンピュータをコンセントから外します。
5. 10 ～ 20 秒待ったあと、接続されているすべてのデバイスを外します。
6. 取り付けられているすべての PC カード、バッテリー、デバイスを取り外します。
7. コンピュータ背面にある金属製のコネクタに触れて身体の静電気を除去します。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を除去してください。
8. コンピュータを裏返し、ミニ PCI カード / モデムカバーから固定ネジを緩めます。

ミニ PCI カード / モデムカバー
拘束ネジ

9 モデムが取り付けられていない場合、手順 10 に進みます。モデムを交換する場合、既存のモデムを取り外します。

a モデムをシステム基板に固定しているネジを外して、横に置きます。

b 取り付けられているプルタブをまっすぐ持ち上げ、モデムをシステム基板上のコネクタから引き上げて、モデムケーブルを取り外します。

10 モデムケーブルをモデムに取り付けます。

注意：ケーブルコネクタは、正しく取り付けられるよう設計されています。無理に接続しないでください。

11 モデムをネジ穴に合わせ、システム基板のコネクタに押し込みます。

12 ネジを取り付けて、モデムをシステム基板に固定します。

13 ミニ PCI カード / モデムカバーを取り付けます。

ハードドライブの交換

メモ：Microsoft® Windows® オペレーティングシステムをインストールするには、『オペレーティングシステム CD』が必要です。また、新しいハードドライブにドライバおよびユーティリティをインストールするには、お使いのコンピュータ用の『Drivers and Utilities CD』が必要です。

警告：ドライブがまだ熱いうちにハードドライブをコンピュータから取り外す場合は、ハードドライブの金属製のハウジングに手を触れないでください。

警告：コンピュータ内部の作業を始める前に、『製品情報ガイド』の安全に関する指示をお読みください。

注意：データの損失を回避するため、コンピュータの電源を切ります（28 ページを参照）。コンピュータの電源が入っているとき、スタンバイモードのとき、または休止状態モードのときにハードドライブを取り外さないでください。

注意：ハードドライブは大変壊れやすく、わずかにぶつけただけでもドライブが損傷を受ける場合があります。

メモ：デルではデル製品以外のハードドライブに対する互換性の保証およびサポートの提供は行っておりません。

ハードドライブベイのハードドライブを交換するには、次の手順を実行します。

1 コンピュータカバーを傷つけないように、平らな作業台を使用し、台の上を片付けます。
2 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします（28 ページを参照）。
3 コンピュータをドッキングデバイスに接続している場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
4 コンピュータをコンセントから外します。
5 10 ～ 20 秒待ってから、接続されているすべてのデバイスを取り外します。
6 取り付けられている PC カード、バッテリー、およびモジュールベイのデバイスをすべて取り外します。

注意：コンポーネントおよびカードはその端を持ち、ピンや接点には触れないでください。コンピュータ背面の金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。この手順を実行している間は、定期的に身体の静電気を除去してください。

7 コンピュータを裏返し、ハードドライブのネジを外します。

注意： ハードドライブをコンピュータに取り付けていないときは、保護用静電気防止パッケージに保管します。

8 ハードドライブをコンピュータから引き出します。

9 新しいドライブを梱包から取り出します。

ハードドライブを保管するためや持ち運ぶために、梱包を保管しておいてください。

注意： ドライブを所定の位置に挿入するには、均等に力を加えてください。力を加えすぎると、コネクタが損傷する恐れがあります。

10 ハードドライブが完全にベイに収まるまでスライドします。

11 ネジを取り付けて、締めます。

12 『オペレーティングシステム CD』を使って、コンピュータで使用するオペレーティングシステムをインストールします（75 ページを参照）。

13 『Drivers and Utilities CD』を使用して、コンピュータで使用するドライバおよびユーティリティをインストールします（72 ページを参照）。

9

付録

仕様

マイクロプロセッサ	
マイクロプロセッサの種類	Intel® Mobile Pentium® M
L1 キャッシュ	32 KB（内蔵）
L2 キャッシュ	
1.3 GHz ～ 1.7 GHz	1 MB
1.8 GHz 以上	2 Mb
外付けバスの周波数	400 MHz

システム情報	
システムチップセット	Intel 855PM
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	64 ビット
マイクロプロセッサアドレスバス幅	32 ビット

PC カード	
カードバスコントローラ	TI4510 カードバスコントローラ
PC カードコネクタ	タイプ I またはタイプ II のカードを 1 枚サポート
サポートするカード	3.3 V および 5 V
PC カードコネクタサイズ	68 ピン
データ幅（最大）	PCMCIA 16 ビット カードバス 32 ビット

メモリ	
メモリモジュールコネクタ	ユーザーがアクセス可能な SODIMM ソケット × 2
メモリモジュールの容量	256 MB、512 MB、および 1024 MB
メモリのタイプ	333 MHz DDR SDRAM（PC2700）
標準メモリ	256 MB
最大搭載メモリ	2 GB

ポートとコネクタ	
ビデオ	15 ピンコネクタ（メス）
オーディオ	マイクミニコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーミニコネクタ
USB	4 ピン USB 2.0 準拠コネクタ × 2
S ビデオ TV 出力	S ビデオおよびコンポジットビデオ用の 7 ピンミニ DIN コネクタ
ミニ PCI	タイプ IIIA ミニ PCI カードスロット
モデム	RJ-11 ポート
ネットワークアダプタ	RJ-45 ポート

通信	
モデム：	
タイプ	v.92 56K MDC
コントローラ	ソフトモデム
インタフェース	内部 AC '97 バス
ネットワークアダプタ	システム基板にある 10/100 Ethernet LAN
ワイヤレス	内蔵の Mini PCI Wi-Fi および Bluetooth™ ワイヤレスサポート（オプション）

ビデオ	
ビデオタイプ	32 ビット高速ハードウェア（NVIDIA GeForce FX Go 5200）、 64 ビット高速ハードウェア（NVIDIA GeForce FX Go 5200 and ATI Mobility Radeon 9000）または、 128 ビット高速ハードウェア（NVIDIA GeForce4 4200 Go、NVIDIA GeForce FX Go5650、または ATI Mobility Radeon 9600）
データバス	4 倍速 AGP
ビデオコントローラ	ATI Mobility Radeon 9000、ATI Mobility Radeon 9600、NVIDIA GeForce4 4200 Go、NVIDIA GeForce FX Go 5200 または NVIDIA GeForce FX Go5650
ビデオメモリ	32 MB（ATI Mobility Radeon 9000 および NVIDIA GeForce FX Go 5200）、 64 MB（NVIDIA GeForce FX Go 5200 および NVIDIA GeForce4 4200 Go）または、 128 MB（ATI Mobility Radeon 9600 および NVIDIA GeForce FX Go5650）
LCD インタフェース	LVDS
テレビサポート	S ビデオおよびコンポジットモードでの NTSC または PAL

オーディオ	
オーディオタイプ	Intel AC ’97
ステレオ変換	20 ビット（ステレオ DA 変換） 18 ビット（ステレオ AD 変換）
インタフェース：	
内蔵	AC ’97
外部	マイクミニコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーミニコネクタ
スピーカー	4 Ω スピーカー × 2
内蔵スピーカーアンプ	2 W チャネル（4 Ω）
ボリュームコントロール	ショートカットキーまたはプログラムメニュー

ディスプレイ	
タイプ（アクティブマトリクス TFT）	WUXGA、WSXGA+、および WXGA
寸法	
縦幅	222.5 mm
横幅	344.5 mm
対角線	391.2 mm
最大解像度	1920 x 1200（WUXGA） 1680 x 1050（WSXGA+） 1280 x 800（WXGA）
応答時間（標準）	立ち下がり、35 ミリ秒（最大）
リフレッシュレート	60 Hz
動作角度	0°（閉じた状態）～ 180°
作動角度	
水平方向	±65°
垂直方向	±50°
ピクセルピッチ	0.1725（WUXGA） 0.1971（WSXGA+） 0.2588（WXGA）
消費電力：	
バックライトのパネル（標準）	5.5 W
コントロール	輝度はショートカットキーによって調節可能

キーボード	
キー数	87（アメリカ、カナダ）、88（ヨーロッパ）、91（日本）
キーストローク	2.7 mm ± 0.3 mm
キースペース	19.05 mm ± 0.3 mm
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

タッチパッド	
X/Y 位置解像度 （グラフィックテーブルモード）	240 cpi
寸法	
横幅	64.88 mm のセンサー感知領域
縦幅	48.88 mm の長方形

バッテリー	
タイプ	9 セル「スマート」リチウムイオン （72 WHr）
寸法	
長さ	222.8 mm
縦幅	22.5 mm
横幅	67 mm
重量	0.48 kg
電圧	11.1 VDC
コンピュータが切れている場合の充電時間	約 1.75 時間 で 80 パーセント充電
動作時間	約 3 ～ 4 時間。特定の電力を多く必要とする状況の元では、著しく短縮されます。
寿命（概算）	300 サイクル（充電 / 放電）
温度範囲	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 65 ℃

AC アダプタ	
入力電圧	90 ～ 264 VAC
入力電流（最大）	1.7 A
入力周波数	47 ～ 63 Hz
出力電流	3.34 A（常時 65 W） 4.62 A（常時 90 W）
出力電圧	65 W（標準）または 90 W
定格出力電圧	19.5 VDC
寸法	
縦幅	28.2 mm（65 W） 27.94 mm（90 W）
横幅	57.9 mm（65 W） 58.42 mm（90 W）
長さ	137.2 mm（65 W） 133.85 mm（90 W）
重量（ケーブル含む）	0.34 kg（65 W） 0.4 kg（90 W）
温度範囲	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 65 ℃

サイズと重量	
縦幅	38 mm
横幅	359 mm
長さ	274 mm
重量：	
トラベルモジュールおよび 72 WHr バッテリーを取り付けた場合	3.13 kg
CD ドライブおよび 72 WHr バッテリーを取り付けた場合	3.27 kg

環境	
温度範囲	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 65 ℃
相対湿度（最大）	
動作時	10 ～ 90 %（結露しないこと）
保管時	5 ～ 95 %（結露しないこと）
最大振動（ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用したとき）：	
動作時	0.66 GRMS
保管時	1.30 GRMS
最大衝撃（ヘッド固定位置のハードドライブと 2 ミリ秒の正弦半波パルスを使用して測定したとき）：	
動作時	122 G
保管時	163 G
高度（最大）：	
動作時	–15.2 ～ 3,048 m
保管時	–15.2 ～ 10,668 m

標準設定

概要

以下のような場合に、セットアップユーティリティを使用します。

- ユーザーが選択可能な機能（たとえば、コンピュータのパスワード）を設定または変更する場合
- システムのメモリ容量など現在の設定情報を確認する場合

コンピュータをセットアップしたら、セットアップユーティリティを起動して、システム設定情報とオプション設定を確認します。後で参照できるように、画面の情報を控えておいてください。

メモ : オペレーティングシステムによってセットアップユーティリティで利用できるほとんどのオプションが自動的に設定され、セットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。**External Hot Key** オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効または無効に設定できます。オペレーティングシステムの設定機能の詳細に関しては、Windows のヘルプとサポートセンターを参照してください。

セットアップユーティリティ画面では、以下のような現在のコンピュータのセットアップ情報や設定が表示されます。

- システム設定
- 起動順序
- 起動設定およびドッキングデバイス構成の設定
- 基本デバイス構成の設定
- システムセキュリティおよびハードドライブのパスワード設定

注意 : 熟練したコンピュータのユーザーであるか、またはデルテクニカルサポートから指示された場合を除き、このプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

セットアップユーティリティ画面の表示

1. コンピュータの電源を入れます（またはコンピュータを再起動します）。
2. DELL™ のロゴが表示されたらすぐに F2 を押します。Dell ロゴの表示と、キーを押すタイミングが合わず Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンしてもう一度やり直します。

セットアップユーティリティ画面

各画面で、セットアップオプションは左側にリストされます。各オプションの右側には、オプションの設定またはオプションの数値が表示されています。画面に明るい色で表示されているオプションの設定は、変更することができます。コンピュータで自動設定され、変更できないオプションは、明るさを抑えた色で表示されています。

画面の右上角には、現在ハイライト表示されているオプションについての説明が表示されています。画面の右下角には、コンピュータのシステム情報が表示されています。画面の下部には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されています。

通常使用するオプション

特定のオプションでは、新しい設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

起動順序の変更

起動順序は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかをコンピュータに知らせます。セットアップユーティリティの **Boot Order** ページを使って、起動順序を管理し、デバイスを有効または無効にできます。

メモ : 一回のみ起動順序を変更するには、100 ページを参照してください。

Boot Order ページでは、お使いのコンピュータに搭載されている起動可能なデバイスの全般的なリストが表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- **Diskette Drive**
- **Modular bay HDD**
- **Internal HDD**
- **CD/DVD/CD-RW drive**

起動ルーチン中に、コンピュータは有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。コンピュータがファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。

起動デバイスを制御するには、↑ または ↓ キーを押して、デバイスを選び（ハイライト表示し）、デバイスを有効または無効にしたり、一覧の順序を変更したりできます。

- デバイスを有効または無効にするには、アイテムをハイライト表示して、Space bar を押します。有効なアイテムは白く表示され、左側に小さな三角形が表示されます。無効なアイテムは青色または暗く表示され、三角形は付いていません。
- デバイス一覧の順番を変更するには、デバイスをハイライト表示して、U または D（大文字と小文字を区別しない）を押して、ハイライト表示されたデバイスを上または下に動かします。

新しい起動順序は、変更を保存し、セットアップユーティリティを終了するとすぐに有効になります。

一回きりの起動の実行

セットアップユーティリティを起動せずに一回だけの起動順序が設定できます。（ハードドライブ上の診断ユーティリティパーティションにある Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動するためにこの手順を使うこともできます。）

1. コンピュータの電源を切ります。
2. コンピュータをドッキングデバイスに接続している場合は、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
3. コンピュータをコンセントに接続します。
4. コンピュータの電源を入れます。DELL のロゴが表示されたらすぐに F12 を押します。Dell ロゴの表示と、キーを押すタイミングが合わず Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。
5. 起動デバイス一覧が表示される場合、起動したいデバイスをハイライト表示して、Enter を押します。

   コンピュータは選択されたデバイスを起動します。

次回コンピュータを再起動するときは、以前の起動順序に戻ります。

プリンタモードの変更

メモ：この設定の変更は、コンピュータがドッキングステーションに接続されている場合にのみ有効です。

パラレルコネクタに接続されているプリンタ、またはデバイスのタイプに合わせて、**Parallel Mode** オプションを設定します。 使用する正しいモードを確認するには、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

Parallel Mode を **Disabled** に設定すると、パラレルポートとポートの LPT アドレスが無効になり、コンピュータのリソースが空くので、別のデバイスが使用できるようになります。

COM ポートの変更

メモ：この設定の変更は、コンピュータがドッキングステーションに接続されている場合にのみ有効です。

Serial Port を使って、シリアルポートの COM アドレスをマップしたり、シリアルポートとアドレスを無効にしたりできます。コンピュータのリソースが空くので、別のデバイスが使用できるようになります。

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- **www.dell.com/jp**
- **support.jp.dell.com**（テクニカルサポート）

メモ：フリーコールは、サービスを提供している国内でのみご利用になれます。

デルへお問い合わせになる場合は、次の表の電子アドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号市外局番	部署名またはサービス地域、 ウェブサイトおよび電子メールアドレス	市内番号 フリーコール
日本（川崎）	Web サイト：**support.jp.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**001**	テクニカルサポート（Dimension™ および Inspiron™）	フリーコール：0120-198-226
国番号：**81**	日本国外のテクニカルサポート（Dimension および Inspiron）	81-44-520-1435
市外局番：**44**	Fax 情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期情報案内サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満）	044-556-1465
	法人営業本部（従業員数 400 人以上）	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部（従業員数 3500 人以上）	044-556-3430
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-1469
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300

索引

と

ね

は

ひ

ふ

へ

ま

み

む

め

も

ら

わ